

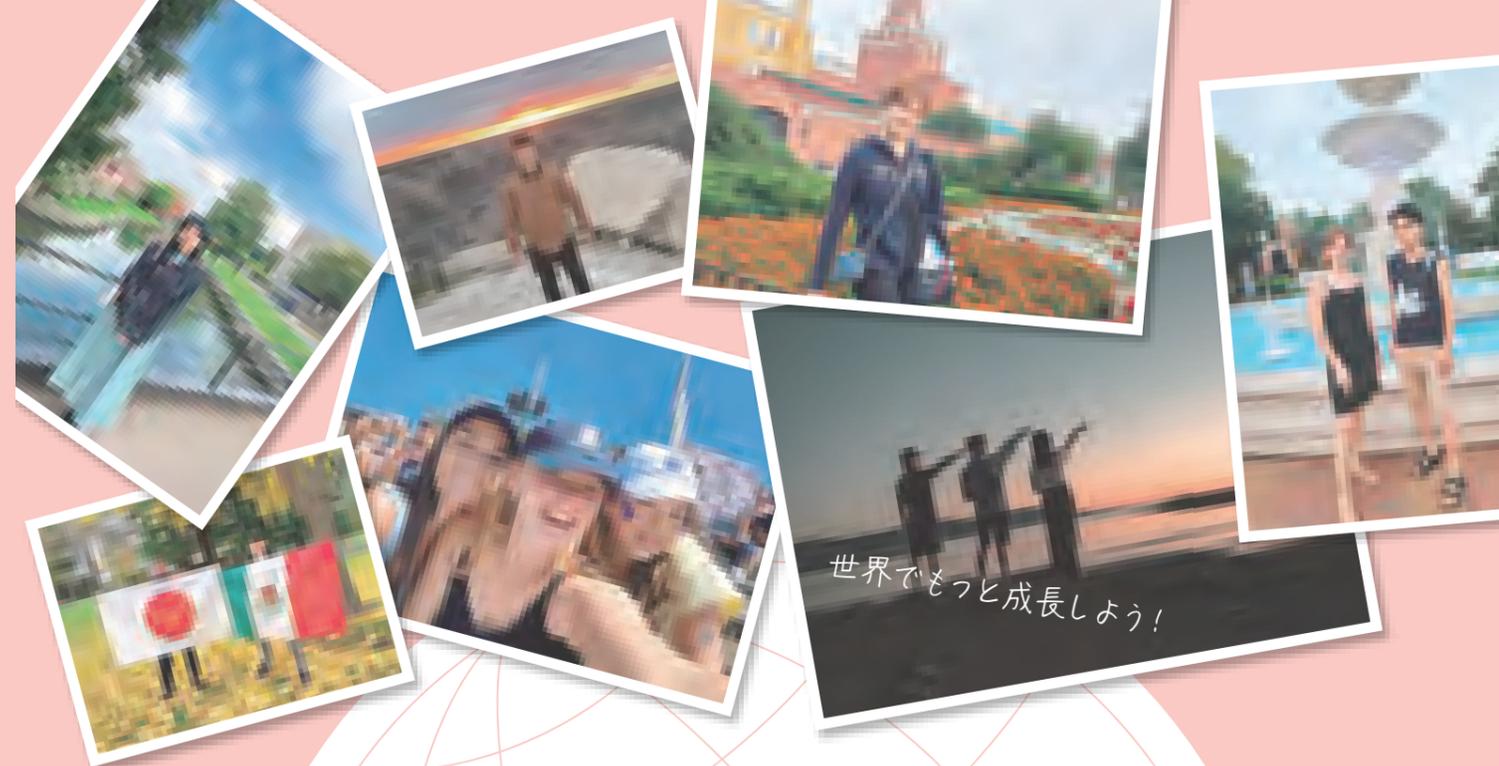


青山学院大学国際センター  
<http://web.iec.aoyama.ac.jp/>

【青山学院スクール・モットー】

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World  
(マタイによる福音書 第5章13～16節より)



世界でもっと成長しよう!

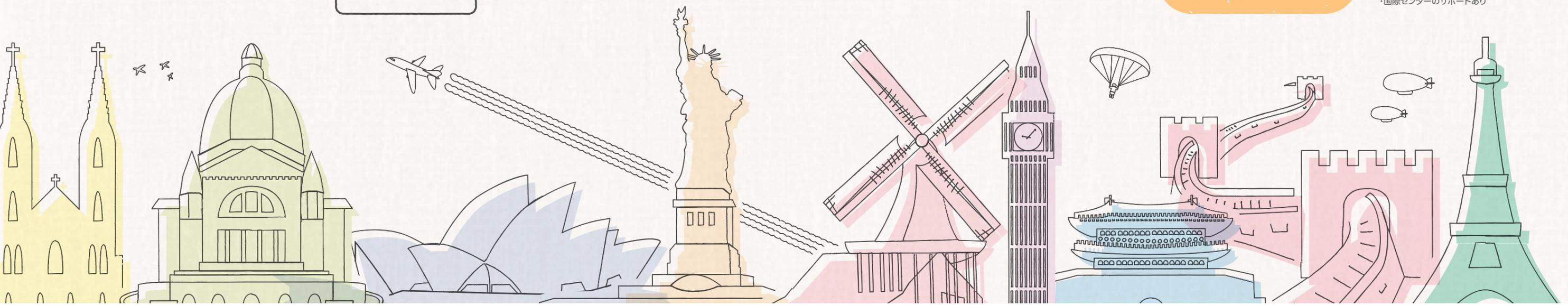
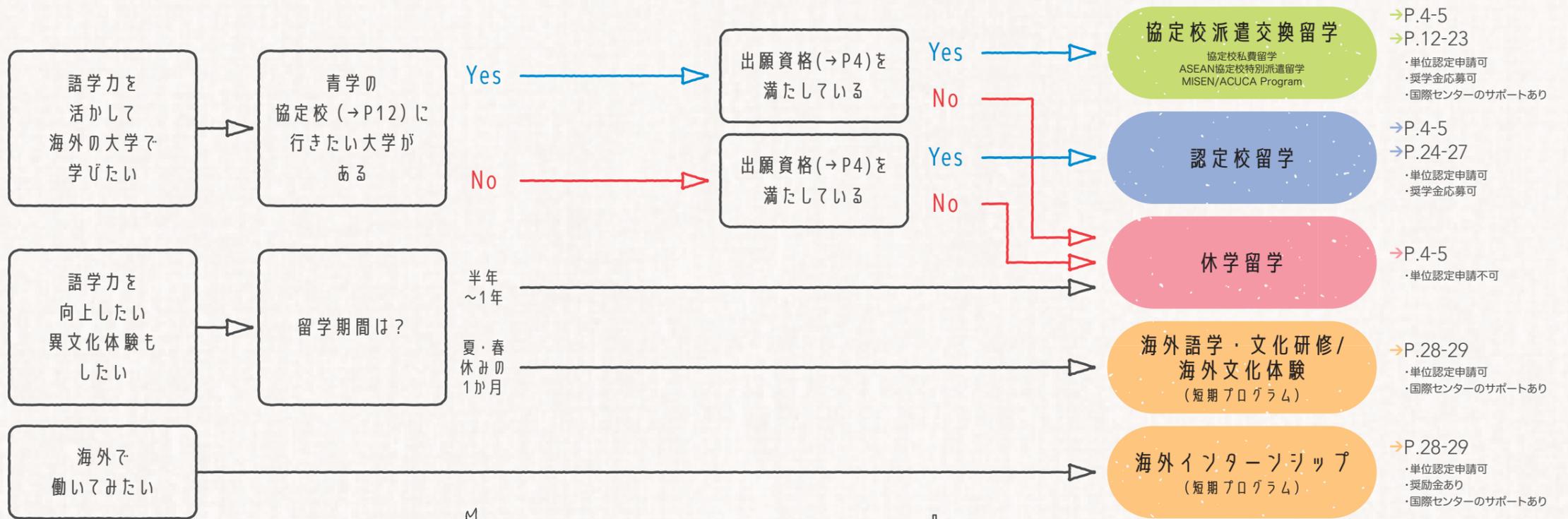
AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

# Study Abroad

GUIDEBOOK 2022



# どんな留学にしたい？



# Study Abroad 2022



## Contents

長期留学システム	4	<b>短期プログラム</b>	28
留学準備と計画	6	(海外語学・文化研修/海外文化体験/海外インターンシップ)	
語学能力とG.P.A.	7		
履修登録と単位認定	8	<b>青山学院大学の留学サポート</b>	
数字で見る青山学院大学の留学	9	奨学金	30
留学準備スケジュール	10	IELTS	32
		合格者出願時の英語力	33
<b>協定校留学(派遣交換/私費)</b>		交換留学体験談	34
協定校紹介	12	卒業生からのメッセージ	35
協定校の出願資格・募集実績	14	留学Q&A	36
		国際センター	38
<b>認定校留学</b>	24	外国留学規則	39

◎表紙等に使用されている写真は、主に2021年度後期協定校派遣交換留学生・認定校留学生からご提供いただきました。

# 長期留学システム

Long-Term Abroad System



	協定校 派遣交換留学	協定校 私費留学	認定校 留学	休学 留学
留学先	青学の協定校 ASEAN協定校特別派遣 MISEN/ACUCA	私費留学を認めている 青学の協定校	任意の4年制大学 <small>※留学先は学位授与権を有する大学 または高等教育機関の正規課程で あること</small>	指定なし 4年制大学・語学学校・ 専門学校・短期大学・ 大学進学準備コースなど
必要経費 <small>例:英語圏協定校への通 年留学(9か月)の場合 滞在費の内訳(食費・教 材費・渡航費・海外保険 料など)</small>	青学への学費 + 滞在費 約200~250万円 <small>※留学先の学費免除</small>	青学への学費 + 留学先の学費 約200~400万円 <small>※選択によってはそれ以上</small> + 滞在費 約200~250万円		休学費 + 留学先の学費 + 滞在費
単位認定 4年で卒業		単位認定 可 4年で卒業 可		単位認定 不可 4年で卒業 不可
国際センター のサポート	サポートあり 協定校への出願・留学中の危機管理などのサポート		サポートなし 個人出願/エージェント経由など	
出願資格 <small>語学能力試験のスコアや G.P.A.については7ペー ジ参照</small>	1. 出発時まで、本学に1年以上在籍していること 2. 学部においては1ヶ年につき30単位以上、大学院においては 16単位以上を既に修得していること 3. G.P.A.が2.4以上かつ希望留学先のG.P.A.条件を満たしていること <small>(1年生からの累計G.P.A.) 注)1年次出願者の場合:1年次終了時に上記条件を満たしていること</small> 4. 希望する留学先ごとの応募条件を満たしていること <small>(出願学年・G.P.A.・語学要件など)</small> 5. 保証人の同意を得られること 6. 心身ともに留学に耐えられる健康状態であること <small>注)毎年度初頭に実施される保険管理センターの健康診断を受診すること</small> <small>※認定校留学は上記に加え、その他出願資格あり(24ページ参照)</small> <small>※大学院生の出願について:上記以外の条件が必要になる場合もあるので必ず事前に国際センターにご相談ください。</small> <b>※以下の場合には出願ができません</b> ・1年生の前期出願 ・4年生の前期/後期出願 ・休学中・留学中での出願		個人出願のため なし	
出願書類	1. 外国留学願書 2. 小論文(日本語) 3. 本人と保証人の誓約書 4. 語学能力証明書 <small>:TOEFL Examinee Score Reportまたは IELTS(Academic Module) Test Report Formの コピー(いずれも学内出願前1年以内に受験したもの) もしくは志望大学が求める語学能力を証明するもの</small> <small>※最新の募集要項や出願書類は国際センターのウェブサイトに掲示します。 国際センターウェブサイト&gt;青学から海外へ&gt;募集要項 http://web.iec.aoyama.ac.jp/studyabroad/application</small>	※認定校留学の 出願書類(本学への 認定申請書類)は 24ページ参照		個人出願のため なし

## 協定校派遣交換留学

### 派遣交換留学とは

本学との間に学生の相互交換協定を締結した大学に学生を派遣する「交換留学制度」による留学です。この制度では留学期間が本学の在籍期間に算入されるので、留学先大学での修得単位を卒業要件として単位認定された場合、留学年次によっては4年間で卒業が可能となります。また、留学先での授業料は原則として免除となります(ただし、雑費などは除く)。派遣交換留学生は、書類審査及び面接による選抜のうえ、大学の承認を経て決定します。

### その他の交換留学プログラム

以下の3つのプログラムは、協定校への派遣交換留学同様、留学期間が本学の在籍期間に算入され、留学先での授業料は免除となるほか、継続履修制度や単位認定制度の適用対象となります。

#### ASEAN協定校特別派遣留学

21世紀に求められる新たなグローバル人材の育成を大学の中長期戦略の一環として位置づけ、経済発展・成長著しいASEAN諸国の協定校へ、将来のグローバル・リーダー候補となる意欲的な学生を特別支援体制のもと協定校派遣留学生として送り出します。

#### 【特別支援措置】

- ・往復渡航費の大学負担
- ・留学先宿舍経費の大学負担(本人立替、帰国後清算)
- ・留学後の成果報告会での発表、研究レポートの提出

#### 【特別派遣留学生としての義務】

- ・大学の指定する事前学習講座の受講、研究計画書の課題提出
- ・留学後の成果報告会での発表、研究レポートの提出

- 対象の大学、募集実績について:16ページ参照
- 出願資格、出願書類について:協定校派遣交換留学と同様  
※ただし対象は学部生に限る。留学期間は半期のみ。

#### MISEN Program

本学が加盟するMISEN(Methodist International Student Exchange Network)加盟校への留学プログラムです。

- 対象の大学、募集実績について:22ページ参照
- 出願資格、出願書類について:協定校派遣交換留学と同様  
※ただし対象は学部生に限る。

#### ACUCA SMS Program

本学が加盟するACUCA(Association of Christian Universities and Colleges in Asia)加盟校へのStudent Mobility Schemeによる留学プログラムです。

- 対象の大学、募集実績について:22ページ参照
- 出願資格、出願書類について:協定校派遣交換留学と同様  
※ただし対象は学部生に限る。留学期間は半期のみ。

## 協定校私費留学

協定校に私費で留学する制度です。アメリカ、フランスなどの一部の協定校で実施しており、本学と協定校の双方へ授業料を支払う必要があります。出願手続きは国際センターを通して行います。派遣交換留学同様、留学期間が本学の在籍期間に算入されるので、留学先大学での修得単位を卒業要件として単位認定された場合、留学年次によっては4年間で卒業が可能となります。協定校留学生(私費)は書類審査及び面接による選抜のうえ、大学の承認を経て決定します。

- 対象の大学、募集実績について:14-15ページ(前期)、22-23ページ(後期)参照

## 認定校留学

詳細は24-27ページ参照

協定校留学では自分の留学目的が果たせない場合、学習目的の合う学位授与件を有する大学または高等教育機関を選定・出願し、入学許可を取得したうえで、本学に認定校留学の申請を行い、認められた場合に協定校留学に準じた留学ができる制度です。協定校留学同様、留学期間が本学の在籍期間に算入され、留学先大学での修得単位を卒業要件として単位認定された場合、4年間で卒業が可能となります。なお、認定校留学の場合は本学と認定校の双方へ授業料を支払う必要があります。また、認定校留学をするためには、申請者自身ですべての申請準備を行う必要があり、実際に出発するまでに1年~1年半程度程度の準備期間が必要です。このため、前期出発の場合は9月中旬まで、後期出発の場合は4月中旬までに必要書類を整え、留学前に国際センターに申請を行う必要があります。認定校留学を考えている場合は、必ず事前に国際センターに申し出てください。スケジュールは10-11ページ参照。

## 休学留学

半期あるいは1年を通して休学し、個人で留学することです。よって、留学に関する手続きは各自で行わなければなりません。休学の手続きは、事前に教務課(青山)/学務課(相模原)にて行う必要があります。留学先の授業科目の単位は本学の単位として認定されず、留学期間は本学の在学期間に算入されないため、4年間で卒業することはできません。なお、休学期間は連続2年までですが、特にやむを得ない場合は審議のうえ、連続3年まで認められることがあります。休学留学を考えている方は、必ず教務課(青山)/学務課(相模原)にて事前に相談してください。

# 留学準備と計画

Preparation and Planning

留学を考えるうえで重要なことは、その動機と目的の明確化です。動機と目的を明確にすることにより、自分に適した留学プログラムを検討して、充実した留学生活へつなげることが可能となります。

外国語を習得し極めたい、専門分野の知識を深めたい、国際的な視野を広げたい、など留学の目的とともに留学プログラムも多様化しています。留学先(地域・国)、留学時期・期間、学びたい学問、卒業後の進路等を熟慮のうえ、自分にとってどのような留学プログラムが効果的かよく検討してください。

# 語学能力とG.P.A.

Language proficiency and G.P.A.

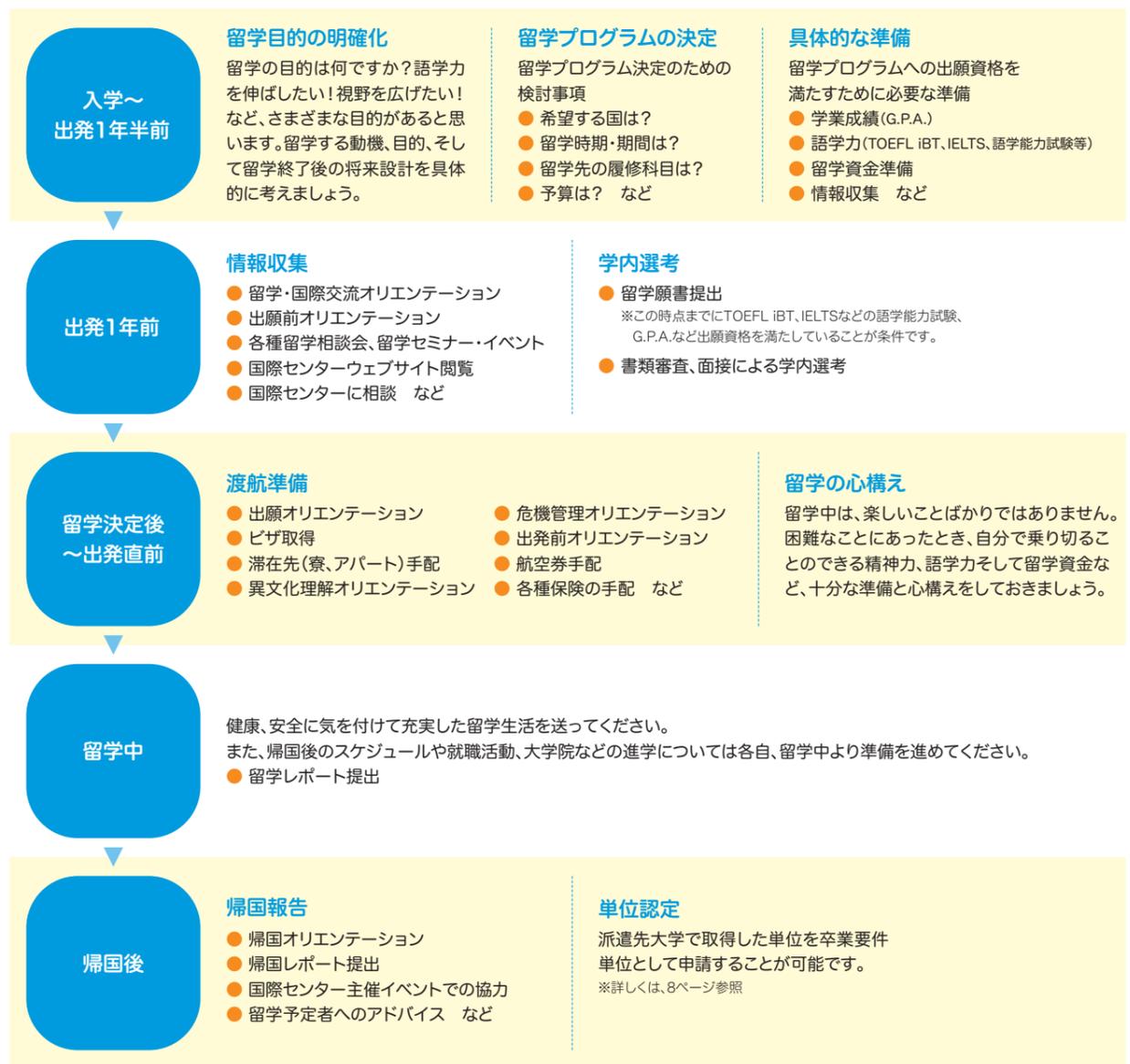
協定校および認定校留学の願に求められる資格は、学業成績(G.P.A.)およびTOEFL iBT、IELTSなどの語学能力試験のスコアです。ただし、留学先によっては、語学能力試験の代わりに本学の語学担当教員による語学能力認定書が認められる場合もあります。出願資格は出願までに満たす必要がありますので、十分な準備が必要です。出願資格の詳細については、14～23ページまたは国際センターのウェブサイトに掲示する最新の募集要項を参照してください。

## 派遣交換留学の目的

本学は一貫してキリスト教主義に基づき、「地球規模の視野に基づく正しい認識を持って、自ら問題を発見し解決する知恵と力を持つ人材を育成する」ことを教育理念としており、派遣交換留学制度は、「国際的な政治、経済、文化活動の場面で相互に理解し合い交流できる人材、国際紛争やさまざまな地球規模での問題の解決に貢献する人材の育成」を目的としています。

## 派遣交換留学の達成目標

留学経験を通じて語学力を高めるだけでなく、異文化理解力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性、主体性を磨き、グローバル社会において活躍できる真の国際人になることを目標に掲げています。また、派遣交換留学生は留学中、学部生は1学期につき12単位(約135時間/8,100分)相当以上、大学院生は9単位(約102時間/6,120分)相当以上修得することが期待されています。



## 語学能力について

応募条件となっている語学能力は、留学先で必要な最低限度のものとなっています。求められる語学能力は留学先によって異なりますが、留学先では現地の言葉を使って生活し、専門科目を受講しますので、日常会話に留まらずアカデミックな語学能力も不可欠です。十分な語学能力は、周りとのコミュニケーションの円滑化につながり、留学をより充実させ、実り多いものにしてくれるでしょう。また、時には身を守るための必要な手段となりますので、渡航前の語学能力向上には十分な準備が必要です。なお、本学の留学出願の際に提出するTOEFL iBTとIELTSのスコアは、学内出願前1年以内に受験したものに限りです。

### TOEFL iBTについて

TOEFL(Test of English as a Foreign Language)は、英語を母国語としない人々を対象に実施されている国際標準の英語能力測定試験で、主に英語圏の大学に留学を希望する学生に必須のテストとなっています。TOEFL iBTはテストセンターで1人1台のコンピュータが割り当てられ、コンピュータ上で受験します。詳細や最新情報はCIEE日本代表部ホームページで確認してください。  
[https://www.toefl-ibt.jp/test\\_takers/index.html](https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/index.html)

### IELTSについて

IELTS(International English Language Testing System)は、英語圏の大学や高等教育機関・継続教育機関が入学志願者にスコアの提出を求める英語運用能力試験です。TOEFL iBTがすべてコンピュータで実施するのに対して、ペーパーベースかコンピュータ形式のどちらかを選択することができます。ただしスピーキング試験はすべて面接官と面接をする形式となります。また、本学のイギリス協定校の一部では、IELTS for UKVI試験を必要とする場合がありますので、ご注意ください。詳細や最新情報は以下のホームページ及び36ページQ5で確認してください。

- 【英検協会】 <https://www.eiken.or.jp/ielts/> (ペーパーベース)
- 【JSAF】 <https://www.jsaf-ieltsjapan.com> (ペーパーベース/コンピュータ式)
- 【ブリティッシュ・カウンシル】 <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts-> (UKVI/コンピュータ式)
- 【バークレイハウス】 <https://berkeleyhouse.co.jp/jp034/> (コンピュータ式/東京会場のみ)

### 英語以外の言語について

英語圏以外の諸外国に留学を希望する場合、一部の協定校では、語学能力認定書の他に当該国の語学能力試験で一定の成績を修めることが必要となる場合があります。詳細は14～23ページの出願資格をご確認ください。

- 語学能力認定書: 本学の語学担当教員の評価に基づき、授業を理解できる程度の第二外国語の語学力を証明する認定書

【英語圏でなくても英語で授業が履修できる協定校があります】  
アメリカや、イギリスなどの英語圏だけが留学先の選択肢ではありません。協定校の中には、英語圏以外の国でも英語で授業を受けられる大学があります。一度の留学で多言語に触れ、学ぶことができる貴重な機会となるはずで、留学先を考える際に、新たな目線で英語圏以外の国も視野に入れてみてはいかがでしょうか。

## G.P.A.について

G.P.A.とは、学生の履修登録科目1単位あたりの評点平均値を指し、成績評価の段階に応じて与えられるGrade Point(評点)を用いて下記計算方法により算出します。出願時に採用されるG.P.A.は、前期出発出願者は学年末、後期出発出願者は当該年度前期末(前期終了科目の評価を含む)に計算された値となります。成績については、学生ポータルにて「成績通知書」(成績証明書ではありません)を確認してください。

※理工・社会情報学部は、教職課程科目をG.P.A.算出の対象外とします。  
※「情報スキル」、指定の海外研修等は、G.P.A.算出の対象外とします。  
※履修取消をした科目は、G.P.A.算出の対象外とします。

### G.P.A.算出方法

履修登録科目1単位あたりの評点平均値(不合格科目・欠席科目の単位数も計算に含まれます。)

#### G.P.A.算出対象評価

評価	Grade Point	【例】
AA	4	● AA評価科目の単位数の合計 20単位
A	3	● A評価科目の単位数の合計 12単位
B	2	● B評価科目の単位数の合計 8単位
C	1	● C評価科目の単位数の合計 4単位
XX	0	● XX評価科目の単位数の合計 2単位
X	0	● X評価科目の単位数の合計 2単位 とすると

$$\frac{(20 \times 4) + (12 \times 3) + (8 \times 2) + (4 \times 1) + (2 \times 0) + (2 \times 0)}{20 + 12 + 8 + 4 + 2 + 2} \approx 2.8$$

※小数点は第二位を四捨五入

# 履修登録と 単位認定

Registration  
and Credit Transfer



## 出願前

所属学部・学科のカリキュラムを理解し、専門科目、ゼミや卒論など、留学予定年次に影響が出る科目がないか確認してください。過去の実績から履修する科目が留学後に単位認定される見込みがあるかを念頭に置き、現在の履修状況と照らし合わせ、4年間で卒業が可能か検討することが重要です。特に教職課程履修者は、留学年次によっては教育実習などに影響が出る可能性が高いので注意が必要です。所属学部学科のカリキュラムについての不明な点は教務課(青山)／学務課(相模原)、教職課程については教職課程課(青山)／学務課教職課程担当(相模原)に確認してください。

## 留学前

	出発時期	通年留学	半期留学
履修登録	前期	留学する年の履修登録不可	留学する年の後期のみ履修登録可
	後期	留学する年の前期・通年科目*のみ履修登録可	

\*留学する年の前期と帰国後の後期に履修する「継続履修」が適用されます。

## 帰国前

単位認定の準備
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単位認定申請希望の有無を確認</li> <li>● 必要な書類(シラバス、時間割、学事暦、教科書、ノート、レポートなど)を保管し、帰国時に持ち帰る</li> </ul>

## 帰国後

<b>認定単位数</b>	当該年次最高履修制限単位を限度として認定が必要です。ただし、複数年度に渡る留学の場合は、60単位を限度として認定が可能です。(60単位には、入学時の既修得単位認定など、本学以外で修得して認定された単位数を含みます。)						
<b>必要書類</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「外国留学生履修科目単位申請・認定書」(認定案)</li> <li>② 留学先の公式英文成績証明書</li> <li>③ 留学先のシラバス</li> <li>④ 時間割、学事暦</li> <li>⑤ 教科書、ノート、レポートなど</li> </ul>						
<b>単位認定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 在学留学を終了した学生は、所定の申請手続きを経て、留学先大学で修得した単位が本学の単位として認定されます。</li> <li>● 所定の期日までに必要書類を教務課(青山)／学務課(相模原)へ提出し、所属学部・研究科の担当教員と面接のうえ、教授会で承認されることによって正式に単位が認定されます。</li> <li>● 単位認定案は、留学先修得科目の講義内容および授業時間数を基に作成します。認定対象として申請できる科目は、所属学部・学科のカリキュラムで履修可能な科目に限ります。認定案作成の際は、必ず授業要覧および講義内容を参照してください。</li> <li>● 認定された単位は手続きした年度の最高履修制度単位に含まれます。</li> <li>● 認定された単位は教員免許状・各種資格取得のための単位として使用することができません。</li> </ul>						
<b>履修登録</b>	<table border="1"> <tr> <td>前期出発・後期出発(半期)</td> <td>前期科目・通年科目を4月に履修登録</td> </tr> <tr> <td>後期出発</td> <td>継続履修科目・後期科目</td> </tr> <tr> <td>前期出発(半期)</td> <td>後期科目</td> </tr> </table>	前期出発・後期出発(半期)	前期科目・通年科目を4月に履修登録	後期出発	継続履修科目・後期科目	前期出発(半期)	後期科目
	前期出発・後期出発(半期)	前期科目・通年科目を4月に履修登録					
	後期出発	継続履修科目・後期科目					
	前期出発(半期)	後期科目					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 後期科目でも前期にしか履修できない科目があります。対象科目については、あらかじめ「授業時間割表(PDF版)」を参照してください。</li> <li>● 帰国後に当該年度の最高履修制限単位を超えての履修はできません。</li> <li>● 継続履修対象科目でも、時間割上他の科目と重複した場合、また都合により同一科目(同一内容)が開講されない場合は、履修できなくなります。</li> <li>● 単位認定の結果および帰国後の履修状況によっては、4年間で卒業できない場合もあります。</li> </ul>							

# 数字で見る 青山学院大学の 留学

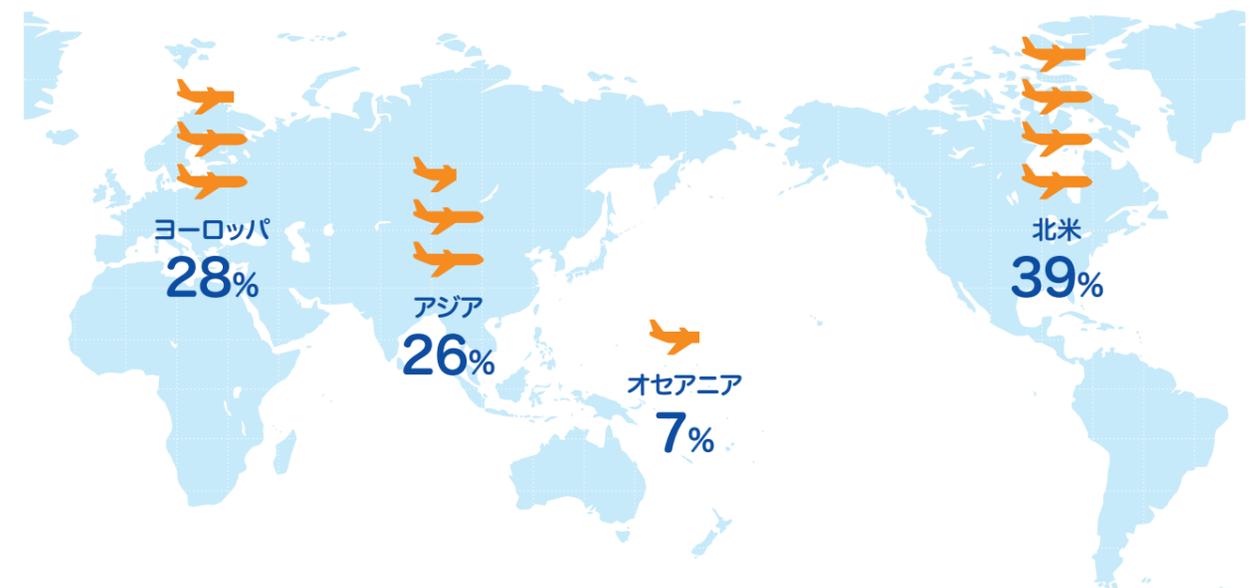
Statistics

## 2019年度 実績

- 協定校留学者数：109名(前期：26名、後期：83名)
- 認定校留学者数：8名
- 大学主催 海外語学・文化研修参加者数：129名
- 海外インターンシップ参加者数：47名
- 学部、研究科及び宗教センター主催 海外研修参加者数：172名
- 休学留学者数：195名

※新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度に全面中止になった協定校・認定校留学は、2021年度後期から段階的に再開されました。

## 2019年度留学派遣先協定校の地域及び国



## 協定校派遣留学生の所属学部

文学部英米文学科、文学部フランス文学科、国際政治経済学部の学生の出願者及び留学者が多くなっていますが、すべての学部生の出願が可能です。

文学部	31名
教育人間科学部	1名
経済学部	2名
法学部	4名
経営学部	10名
国際政治経済学部	41名
総合文化政策学部	6名
理工学部	2名
社会情報学部	2名
地球社会共生学部	9名
国際マネジメント研究科	1名

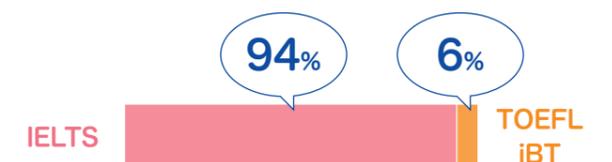
## 留学出発年次

十分な出願準備ができること、留学先で勉強したい分野が明確になることから、2年次出願→3年次出願者が多いですが、後期出発については1年次出願→2年次出願者が年々増えています。



## 出願時の語学能力試験利用状況

英語圏または英語開講科目を履修する留学先においては、TOEFL iBTまたはIELTSのスコアが求められますが、本学では学内IELTS試験を実施していることもあり、IELTSでの出願者が多くなっています。





# 協定校紹介

※学生交換協定を結んでいる大学

Student Exchange  
Partner Universities

各大学の特色を理解して、自分に合った留学先選びをすることは大切です。  
生活や文化、学習環境など十分に下調べをする必要があります。

## ASIA

KOREA	1	Ewha Womans University 梨花女子大学(ソウル)
	2	Hankuk University of Foreign Studies 韓国外国語大学(ソウル)
	3	Keimyung University 啓明大学(テグ)
	4	Kookmin University 国民大学(ソウル)
	5	Korea University 高麗大学(ソウル)
	6	Kyungnam University 慶南大学(マサン)
	7	Seoul National University ソウル大学(ソウル)
	8	Seoul Women's University ソウル女子大学(ソウル)
	9	Sogang University 西江大学(ソウル)
	10	Sungkyunkwan University 成均館大学(ソウル)
	11	Yonsei University 延世大学(ソウル)
CHINA	12	Beijing Foreign Studies University 北京外国語大学(北京)
	13	Dalian University of Foreign Languages 大連外国語大学(大連)
	14	Dongbei University of Finance & Economics 東北財経大学(大連)
	15	East China University of Political Science and Law 華東政法大学(上海)
	16	Nankai University 南開大学(天津)
	17	Peking University, History Department 北京大学歴史学部(北京)
	18	Shanghai Normal University 上海師範大学(上海)
	19	The Chinese University of Hong Kong, Shenzhen 香港中文大学(深圳)
	20	City University of Hong Kong 香港城市大学(香港)
TAIWAN	21	National Chengchi University 国立政治大学(台北)
	22	National Taiwan University 国立台湾大学(台北)
	23	Tamkang University 淡江大学(淡水)
MYANMAR	24	University of Information Technology ヤンゴン情報技術大学(ヤンゴン)
VIETNAM	25	University of Languages and International Studies, Vietnam National University, Hanoi ハノイ国家外国語大学(ハノイ)
	26	University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University, Ho Chi Minh City ホーチミン市人文社会科学大学(ホーチミン)
THAILAND	27	Chiang Mai University チェンマイ大学(チェンマイ)
	28	Chulalongkorn University チュラロンコン大学(バンコク)
	29	Kasetsart University カセサート大学(バンコク)
	30	Silpakorn University シラパコン大学(バンコク)
	31	Srinakharinwirot University シーナカリンウィロート大学(バンコク)
	32	Thammasat University タマサート大学(バンコク)
	33	Maranatha Christian University マラナタクリスチャン大学(バンドン)
BRUNEI	34	Universiti Brunei Darussalam ブルネイ・ダルサラーム大学(バンドルシブガワン)
MALAYSIA	35	Universiti Kuala Lumpur クアラルンプール大学(クアラルンプール)
	36	Universiti Tunku Abdul Rahman 拉曼大学(セランゴール)
	37	University of Malaya マラヤ大学(クアラルンプール)
PHILIPPINES	38	Ateneo de Manila University アテネオデマニラ大学(マニラ)
INDIA	39	Visva-Bharati University タゴール国際大学(シャンティニケタン)
MONGOLIA	40	National University of Mongolia モンゴル国立大学(ウランバートル)
KAZAKHSTAN	41	Al-Farabi Kazakh National University アルファラビ・カザフ民族大学(アルマトイ)

## OCEANIA

AUSTRALIA	42	Curtin University カーティン大学(パース)
	43	Southern Cross University サザンクロス大学(リズモア)
	44	Swinburne University of Technology スウィンバーン工科大学(メルボルン)
	45	University of Sydney シドニー大学(シドニー)
	46	University of Wollongong ウーロンゴン大学(ウーロンゴン)
	47	Western Sydney University ウェスタンシドニー大学(シドニー)
NEW ZEALAND	48	Nelson Marlborough Institute of Technology ネルソン・マルボロ工科大学(ネルソン)

## NORTH AMERICA SOUTH AMERICA

CANADA	49	Carleton University カールトン大学(オタワ)
	50	The University of British Columbia ブリティッシュ・コロンビア大学(バンクーバー)
	51	University of Toronto, Victoria College トロント大学ビクトリアカレッジ(トロント)
	52	York University ヨーク大学(トロント)
	53	California Baptist University カリフォルニア・バプティスト大学(カリフォルニア州リバーサイド)
UNITED STATES	54	Carthage College カーセージカレッジ(ウィスコンシン州ケノーシャ)
	55	Clafin University クラフィン大学(サウスカロライナ州オレンジバーグ)
	56	Columbia University School of Professional Studies コロンビア大学(ニューヨーク州ニューヨーク)
	57	Cornell College コーネルカレッジ(アイオワ州マウントバーノン)
	58	DePauw University デポー大学(インディアナ州グリーンキャッスル)
	59	Emory & Henry College エモリー・アンド・ヘンリーカレッジ(バージニア州エモリー)
	60	George Mason University ジョージ・メイソン大学(バージニア州フェアファクス)
	61	Georgia State University ジョージア州立大学(ジョージア州アトランタ)
	62	Goucher College ガウチャーカレッジ(メリーランド州ボルチモア)
	63	Hamline University ハムリン大学(ミネソタ州セントポール)
	64	Hawai'i Pacific University ハワイパシフィック大学(ハワイ州ホノルル)
	65	Hendrix College ヘンドリックスカレッジ(アーカンソー州コンウェイ)
	66	Eastern Oregon University イースタンオレゴン大学(オレゴン州ラグラン)
67	Oregon Institute of Technology オレゴン工科大学(オレゴン州クラマスフォールズ)	
68	Oregon State University オレゴン州立大学(オレゴン州コーバリス)	
69	Portland State University ポートランド州立大学(オレゴン州ポートランド)	
70	Southern Oregon University サザンオレゴン大学(オレゴン州アシュランド)	
71	University of Oregon オレゴン大学(オレゴン州ユージーン)	
72	Western Oregon University ウェスタンオレゴン大学(オレゴン州モンマウス)	
73	Illinois Wesleyan University イリノイウェズリアン大学(イリノイ州ブルーミントン)	
74	Linfield University リンフィールド大学(オレゴン州マクミンビル)	
75	North Central College ノースセントラルカレッジ(イリノイ州ナベビル)	

IE3  
IE3 Global:  
アメリカ合衆国  
オレゴン州  
にある複数の  
大学から構成  
される大学機  
構のこと。

UNITED STATES	76	Northeastern State University ノースイースタン州立大学(オクラホマ州アレクサ)
	77	Northern Arizona University ノーザンアリゾナ大学(アリゾナ州フラッグスタッフ)
	78	Ohio Wesleyan University オハイオウェズリアン大学(オハイオ州デラウェア)
	79	Pfeiffer University ファイファー大学(ノースカロライナ州ミッセンハイマー)
	80	Salisbury University ソールズベリー大学(メリーランド州ソールズベリー)
	81	San Diego State University サンディエゴ州立大学(カリフォルニア州サンディエゴ)
	82	San Francisco State University サンフランシスコ州立大学(カリフォルニア州サンフランシスコ)
	83	Texas Christian University テキサスクリスチャン大学(テキサス州フォートワース)
	84	University of Florida フロリダ大学(フロリダ州ゲインズビル)
	85	University of Guam グアム大学(アメリカ領グアム島)
	86	University of Mississippi ミシシッピ大学(ミシシッピ州オックスフォード)
	87	University of Montana モンタナ大学(モンタナ州ミズーラ)
	88	University of Northern Colorado ノーザンコロラド大学(コロラド州グリーリー)
	89	University of Pennsylvania, College of Liberal and Professional Studies ペンシルバニア大学(ペンシルバニア州フィラデルフィア)
	90	University of San Diego サンディエゴ大学(カリフォルニア州サンディエゴ)
	91	University of South Carolina, Darla Moore School of Business サウスカロライナ大学 ビジネス学部(サウスカロライナ州コロンビア)
	92	University of Vermont バーモント大学(バーモント州バーリントン)
93	University of Washington ワシントン大学(ワシントン州シアトル)	
94	Wichita State University ウィチタ州立大学(カンザス州ウィチタ)	
ECUADOR	95	Universidad Del Pacifico / ビシフィコ大学(キト)
MEXICO	96	Universidad Autónoma de Guadalajara グアダハラ自治大学(グアダハラ)
	97	Universidad Nacional Autónoma de México メキシコ国立自治大学(メキシコシティ)

## EUROPE

UNITED KINGDOM	98	Oxford Brookes University オックスフォードブルックス大学(オックスフォード)
	99	University of Hertfordshire ハートフォードシャー大学(ハットフィールド)
	100	University of Kent ケント大学(カンタベリー)
	101	University of Sheffield シェフィールド大学(シェフィールド)
	102	University of Stirling スターリング大学(スターリング)
IRELAND	103	National University of Ireland Galway アイルランド国立大学ゴールウェイ校(ゴールウェイ)
	104	Waterford Institute of Technology ウォーターフォード工科大学(ウォーターフォード)
SPAIN	105	Catholic University of Murcia カトリック大学サンアントニオ・デ・ムルシア(ムルシア)
	106	Universitat Politècnica de València バレンシア工科大学(バレンシア)
	107	University of Córdoba コルドバ大学(コルドバ)
	108	University of Salamanca サラマンカ大学(サラマンカ)

ITALY	109	University of Bologna ボローニャ大学(ボローニャ)
	110	University of Cagliari カリアリ大学(カリアリ)
FRANCE	111	Groupe EDH (L'école des nouveaux métiers de la communication; L'école du management de la culture et du marché de l'art; L'école du nouveau journalisme) グループEDH(パリ)
	112	Institut d'Etudes Politiques de Grenoble グルノーブル政治学院(グルノーブル)
	113	Université de Franche-Comté フランシュ=コンテ大学(ブザンソン)
	114	Centre de Linguistique Appliquée, Université de Franche-Comté フランシュ=コンテ大学応用言語学センター(ブザンソン)
	115	Université de la Sorbonne Nouvelle-Paris III パリ第三大学(パリ)
	116	Université de Lorraine ロレーヌ大学(ナンシー)
	117	Université de Pau et des Pays de l'Adour ポー・エ・デュ・ペイ・ド・ラドゥール大学(パー)
	118	Université de Tours トゥール大学(トゥール)
	119	Université Jean Monnet ジャン・モネ大学(サンテティエンヌ)
SWITZERLAND	120	Université de Genève ジュネーブ大学(ジュネーブ)
GERMANY	121	Heinrich-Heine University Düsseldorf ハイネリッヒ・ハイネ・デュッセルドルフ大学(デュッセルドルフ)
	122	Ludwigshafen University of Business and Society ルートヴィヒスハーフェン経済大学(ルートヴィヒスハーフェン)
	123	Paderborn University パーダーボルン大学(パーダーボルン)
	124	Saarland University ザールランド大学(ザールブリュッケン)
	125	University of Applied Sciences, Saarland (htw saar) ザールランド経営工科大学(ザールブリュッケン)
	126	University of Cologne コルン大学(ケルン)
	127	University of Münster ミュンスター大学(ミュンスター)
RUSSIA	128	Moscow State Institute of International Relations モスクワ国際関係大学(モスクワ)
	129	Moscow State University モスクワ大学(モスクワ)
UKRAINE	130	Taras Shevchenko National University of Kyiv キエフ大学(キエフ)
HUNGARY	131	Eötvös Loránd University エドヴェシュ・ロランド大学(ブタペスト)
SWEDEN	132	Kristianstad University クリスチャンスタッド大学(クリスチャンスタッド)
FINLAND	133	Laurea University of Applied Sciences ラウレア応用科学大学(レップイバー)
	134	Tampere University タンペレ大学(タンペレ)
SLOVENIA	135	University of Ljubljana, Faculty of Arts リュブリャナ大学 文学部(リュブリャナ)
BULGARIA	136	Sofia University, St.Kliment Ohridski ソフィア大学(ソフィア)
POLAND	137	Jagiellonian University ヤギェウォ大学(クラクフ)
	138	Warsaw University of Technology ワルシャワ工科大学(ワルシャワ)
NETHERLAND	139	Amsterdam University of Applied Sciences アムステルダム応用科学大学(アムステルダム)
	140	Rotterdam University of Applied Sciences ロッテルダム応用科学大学(ロッテルダム)



■協定校の出願資格・募集実績

※2022年度募集要項です。募集校や出願資格内容は変更になる可能性があるため、詳細は当該年度の募集要項を参照すること。  
 ※2022年度募集休止の協定校については、2021年度の出願資格内容を記載。

※出願資格の\*は備考欄も必ず参照すること。  
 ※募集人数：通年の場合の募集人数を記載。

※出願件数：第1～第5志望までの合計件数。  
 ※合格者数：半期の合格者が2名以上の場合は、募集人数を上回る場合がある。

前期募集																	
国/地域	大学名	留学期間 (通年/半期)	留学期間	2022年度 派遣募集実績									2021年度派遣募集実績			備考	
				出願 学年	G.P.A.	出願資格				募集 人数*	出願 件数*	合格 者数*	募集 人数	出願 件数	合格 者数		
						出願言語	TOEFL iBT	IELTS	語学能力 試験								語学能力 認定書
韓国	Ewha Womans University	前期	通年:2~12月/半期:2~6月	2・3	2.5	韓国語 または英語	68	5.5	TOPIK3級	韓国語	2	4	1	2	5	2	履修不可:Nursing, Medicine, Pharmacy, Education
	Hankuk University of Foreign Studies				2.5	韓国語 または英語	80	6.0	TOPIK3級	—	2	3	0	2	0	0	英語開講科目を履修希望の場合は左記TOEFL iBT/IELTSスコアを提出。 英語授業は主に英語学、英文学、経営学、貿易学、国際学専攻に開設されている。 履修不可: Language and Trade Major, Diplomacy Major, Law School, Business College
	Keimyung University				2.4	韓国語	—	—	TOPIK3級	韓国語	2	0	0	—	—	—	履修不可: Medicine, Nursing, Pharmacy, Digipen, Special art (Music) major
	Kookmin University				2.5	韓国語	—	—	TOPIK3級	韓国語	2	0	0	—	—	—	履修不可: College of Arts, College of Architectureの授業
	Korea University	2.5	韓国語 または英語		79	6.0	TOPIK3級	韓国語	2	5	2	2	5	2			
	Kyungnam University	2.7	韓国語		—	—	TOPIK4級	韓国語	2022年度募集休止			2	6	2	韓国籍保持者は出願不可。		
	Seoul National University	2.5(学部) 3.0(大学院)	韓国語 または英語		88	6.0	TOPIK5級	韓国語	2	3	2	2	6	2	ソウル大学側の独自の審査があるため、GPAや語学カスコアはより高いことが望ましい。学内選考で合格した場合でも、ソウル大学側の審査で不合格になる可能性がある。特にCBAはより厳しく審査される。		
	Seoul Women's University	2.4	韓国語		—	—	TOPIK3級	韓国語	2	0	0	2	0	0			
	Sogang University	2.5	韓国語 または英語		79	6.5	TOPIK4級	韓国語	2	3	0	2	2	0	韓国語開講科目を履修する場合はTOPIK4級を取得していることが望ましい。 英語開講科目を履修希望の場合は左記TOEFL iBT/IELTSスコアを提出。		
	Sungkyunkwan University	2.5	韓国語 または英語		80	6.0	TOPIK4級	韓国語	1	1	1	2	4	2	Business Administrationで開講される科目を履修希望の場合はTOPIK4級以上または左記TOEFL iBT/IELTSスコアが必要。		
Yonsei University	2.5	韓国語 または英語	79	6.5	TOPIK4級	—	2	3	2	1	1	1	韓国語開講科目を履修する場合はTOPIK4級以上を取得もしくは本学教員によるassessment reportを提出。				
タイ	Chiang Mai University	前期	通年:6~3月	2・3	3.0	英語	68	5.5	—	—	1	0	0	1	1	1	出願を検討する学生は帰国時期が3月下旬以降になるため、事前に教務課窓口にて帰国後の履修登録について確認すること。
オーストラリア	Curtin University	前期	通年:2~11月/半期:2~6月	2・3	2.5	英語	68	6.0	—	—	1	1	0	2	4	2	TOEFL iBT: Reading/Listening13以上、Speaking18以上、Writing21以上 IELTS: 各セクション6.0以上 履修不可: Nursing, Medicine, Law, Physiotherapy
	Southern Cross University		通年:2~10月/半期:2~6月		2.5	英語	68	6.0	—	—	2022年度募集休止			1	10	1	TOEFL iBT: Reading/Listening11以上、Speaking/Writing17以上 IELTS: 6.5以上、各セクション6.0以上
	Swinburne University of Technology				2.4	英語	75	6.0	—	—	3	1	0	3	9	3	TOEFL iBT: 各セクション17以上 IELTS: 各セクション5.5以上
	University of Sydney				3.0	英語	85	6.5	—	—	2	1	1	2	1	1	TOEFL iBT: Reading/Listening&speaking17以上、Writing19以上 IELTS: 各セクション6.0以上 履修不可: Postgraduate Medicine, Dentistry, Psychology
	University of Wollongong		通年:2~11月/半期:2~6月		2.7	英語	79	6.0	—	—	2	0	0	1	9	1	TOEFL iBT: Writing20以上、Reading18以上、Listening17以上、Speaking16以上 IELTS: Reading/Writing6.0以上
	Western Sydney University				2.4	英語	70	6.0	—	—	5	3	1	5	2	1	TOEFL iBT: Reading/Listening11以上、Speaking16以上、Writing20以上 IELTS: 各セクション5.5以上 【Interpreting, Translation, Lawの科目を履修する場合】 TOEFL iBT: Overall82以上、Reading/Listening13以上、Speaking18以上、Writing21以上 IELTS: Overall6.5以上、各セクション6.0以上 履修不可: Medicine, Nursing, Midwifery
合計											33	28	10	32	65	21	

前期募集(協定校 私費)																	
※協定校留学(私費):5ページ参照 ※最新の授業料の額は変更になる可能性があります。また、滞在費・生活費・教材費・医療保険代などを含んでいません。 ※規定単位数以上履修した場合や特別な費用を必要とする授業を履修した場合、授業料が加算される可能性があります。																	
国/地域	大学名	留学期間 (通年/半期)	留学期間	2022年度派遣募集実績									2021年度派遣募集実績			備考	
				出願 学年	G.P.A.	出願資格				募集 人数*	出願 件数*	合格 者数*	募集 人数	出願 件数	合格 者数		
						出願言語	TOEFL iBT	IELTS	語学能力 試験								語学能力 認定書
フランス	Centre de Linguistique Appliquée, Université de Franche-Comté	前期	通年:2~12月	2・3	2.4	フランス語	—	—	*備考欄参照		約10	1	1	約10	3	3	フランス文学科が行う「フランシュ=コンテ大学応用言語学センター試験」を受験すること。 学費:€1280.00/半期(2021年度参考)
合計											10	1	1	10	3	3	

協定校留学(派遣交換/私費)

認定校留学

短期プログラム

青山学院大学の留学サポート

■協定校の出願資格・募集実績

※2022年度募集要項です。募集校や出願資格内容は変更になる可能性があるため、詳細は当該年度の募集要項を参照すること。  
 ※2022年度募集休止の協定校については、2021年度の出願資格内容を記載。

※出願資格の\*は備考欄も必ず参照すること。  
 ※募集人数：通年の場合の募集人数を記載。

※出願件数：第1～第5志望までの合計件数。  
 ※合格者数：半期の合格者が2名以上いる場合は、募集人数を上回る場合がある。

後期募集(アジア)

国/地域	大学名	留学期間 (通年/半期)	留学期間	2022年度 派遣募集実績										2021年度派遣募集実績			備考		
				出願 学年	G.P.A.	出願資格					募集 人数*	出願 件数*	合格 者数*	募集 人数	出願 件数	合格 者数			
						※出願言語を確認のうえ、英語または第二外国語の語学力を証明する書類を提出。													
				出願 言語	TOEFL iBT	IELTS	語学能力 試験	語学能力 認定書											
中国	Beijing Foreign Studies University	後期	通年:9~7月/半期:9~1月	1~3	2.8	中国語	78	6.0	HSK4級	中国語	1	3	0	2	3	1	本学内選考で合格した場合でも、国際商学院側の審査で不合格になる可能性がある。 交換留学生の多くは中文学院または国際商学院に所属する。 一般学部科目の中国語での履修も可能だが、HSK5級が必要。 英語開講科目を履修希望の場合は左記TOEFL iBT/IELTSスコアを提出。 中国/台湾/香港/マカオ籍保持者の出願不可。		
	Dalian University of Foreign Languages				2.4	中国語	—	—	HSK4級	中国語	2	1	0	5	1	0			
	Dongbei University of Finance and Economics				2.4	中国語	72	5.5	HSK4級	—	1	0	0	1	0	0			
	East China University of Political Science and Law		通年:9~6月/半期:9~12月		2.4	中国語	80	6.0	HSK4級	中国語	2	1	1	2	2	0			
	Nankai University				3.0	中国語	—	—	HSK4級	中国語	1	2	0	1	1	0			
	Peking University, History Department				通年:9~6月/半期:9~1月	2.5	中国語	80	6.5	HSK5級	—	2	2	1	2	0		0	
	Shanghai Normal University		2.4			中国語	80	6.0	HSK4級	中国語	2	1	1	2	2	1			
台湾	National Chengchi University	後期	通年:9~6月/半期:9~1月	1~3	2.8	中国語 または英語	80	6.0	HSK4級	中国語	2	1	0	2	4	1	中国語開講の学部専門科目を履修する場合はHSK4級以上の合格証明書があることが望ましい。 英語開講科目を履修希望の場合は左記TOEFL iBT/IELTSスコアを提出。 外国籍の一部は出願が制限される可能性があるため、事前に国際センターに相談すること。 Department of Anthropologyの授業を履修する場合は中国語能力証明を提出。 英語開講科目を履修希望の場合は左記TOEFLiBT/IELTSスコアを提出。 台湾籍保持者の出願不可。		
	National Taiwan University				3.0	中国語 または英語	68	5.5	HSK4級	中国語	5	8	5	5	5	5			
	Tamkang University				2.4	中国語 または英語	68	5.5	HSK4級	中国語	2	8	2	2	2	0			
中国(深圳)	The Chinese University of Hong Kong, Shenzhen	後期	通年:9~5月/半期:9~12月	1~3	3.0	英語	71	6.0	—	—	4	2	1	3	0	0	全ての学部専門科目が英語で開講されている。		
中国(香港)	City University of Hong Kong				2.8	英語	79	6.5	—	—	4	1	1	3	1	0			
タイ	Kasetsart University	後期	通年:8~5月/半期:8~12月	1~3	3.0	英語	80	6.0	—	—	2022年度募集休止			2	0	0	半期はASEAN枠のみ募集。		
			半期:8~12月 (ASEAN枠*1)		2.5						1	0	0						
	Srinakharinwirot University		通年:8~5月		2.4	英語	68	5.5	—	—	4	7	4	2	2	2		半期はASEAN枠のみ募集。	
			半期:8~12月 (ASEAN枠*1)		2						1	1	1	1	1				
Thammasat University	通年:8~5月/半期:8~12月	2.5~3.0	英語	68~80	5.5~6.5	—	—	2	3	1	2	0	0	プログラムによって求められるG.P.A.、英語スコアが異なる。					
ベトナム	University of Languages and International Studies (ULIS), Vietnam National University – Hanoi	後期	通年:8~6月	1~3	2.8	英語	78	6.0	—	—	1	0	0	1	1	0	半期はASEAN枠のみ募集。 出発までの期間にベトナム語の学習をすること。 大学院は英語、フランス語、中国語の履修のみ可。		
			半期:8~12月 (ASEAN枠*1)								2	0	0	1	0	0			
University of Social Sciences and Humanities (USSH), Vietnam National University – Ho Chi Minh City	通年:9~6月		3.0		英語	85	6.5	—	—	1 (ASEAN 枠を含む)	0	0	2021年度募集休止						
	半期:9~1月 (ASEAN枠*1)												1	0	0				
ブルネイ	Universiti Brunei Darussalam	後期	通年:8~6月	1~3	2.5	英語	78	6.0	—	—	2	1	0	1	1	1	半期はASEAN枠のみ募集。		
マレーシア	University of Malaya		半期:8~12月 (ASEAN枠*1)								1	0	0	1	0	0			
			通年:10~7月/半期:10~2月		3.0	英語	80	6.0	—	—	4	2	1	2	3	2		履修不可:Medicine, Denistry, Psychology イスラエル籍保持者は出願不可。	
インドネシア	Maranatha Christian University		通年:9~6月		1~3	2.8	英語	68	5.5	—	—	1	1	1	1	1		0	半期はASEAN枠のみ募集。
モンゴル	National University of Mongolia		半期:9~1月 (ASEAN枠*1)										0	0	1	0		0	
		通年:9~6月/半期:9~1月	1~3	2.8	英語	68	5.5	—	—	1	0	0	1	0	0	モンゴル語または英語での学部専門科目が履修可能。モンゴル語の初級レベルがあることが望ましい。 モンゴル語の学習経験がない場合はMongolian Language Programに所属する。 出願を希望する場合は必ず事前に国際センターにて要相談。			
										合計	49	45	20	48	30	14			

\*1:ASEAN協定校特別派遣留学(5ページ参照)

協定校留学(派遣交換/私費)

認定校留学

短期プログラム

青山学院大学の留学サポート

■協定校の出願資格・募集実績

※2022年度募集要項です。募集校や出願資格内容は変更になる可能性があるため、詳細は当該年度の募集要項を参照すること。  
 ※2022年度募集休止の協定校については、2021年度の出願資格内容を記載。

※出願資格の\*は備考欄も必ず参照すること。  
 ※募集人数：通年の場合の募集人数を記載。

※出願件数：第1～第5志望までの合計件数。  
 ※合格者数：半期の合格者が2名以上いる場合は、募集人数を上回る場合がある。

後期募集(英語圏)

※募集人数、出願件数、合格者数は派遣交換留学生の数字であり、協定校(私費)については22ページを参照すること。

国/地域	大学名	留学期間 (通年/半期)	留学期間	2022年度 派遣募集実績								2021年度派遣募集実績			備考					
				出願 学年	G.P.A.	出願資格					募集 人数*	出願 件数*	合格 者数*	募集 人数		出願 件数	合格 者数			
						※出願言語を確認のうえ、英語または第二外国語の語学力を証明する書類を提出。														
				出願言語	TOEFL iBT	IELTS	語学能力 試験	語学能力 認定書												
カナダ	Carleton University	後期	通年:9~4月/半期:9~12月	1~3	3.0	英語	86	6.5	—	—	2	5	2	2	2	2	TOEFL iBT: Writing/Speaking22以上、Reading/Listening20以上 IELTS:各セクション6.0以上			
	The University of British Columbia				3.0	英語	90	6.5	—	—	2	21	2	2	9	2	TOEFL iBT: Reading/Listening22以上、Speaking/Writing21以上 IELTS:各セクション6.0以上			
	University of Toronto, Victoria College				2.4	英語	89	6.5	—	—	2	20	2	2	5	2	TOEFL iBT: Writing22以上 IELTS:各セクション6.0以上 Glendon Collegeではフランス語学部授業の履修も可能。DELTA B1または実用フランス語技能検 定試験2級相当の語学力があることが望ましい。			
	York University				2.4	英語	83	6.5	—	—	2	14	2	1	9	1				
アメリカ	California Baptist University	後期	通年:8~4月/半期:8~12月	1~3	2.4	英語	71	5.5	—	—	2	33	2	2	16	2	履修不可: Aviation 米国籍保持者(二重国籍者・永住権・グリーンカード保持者)は出願不可。			
	Carthage College		通年:9~5月/半期:9~12月		2.5	英語	68	6.0	—	—	1	42	1	2	7	2	TOEFL iBT:各セクション18以上			
	Clafin University		通年:8~5月/半期:8~12月		2.8	英語	80	6.0	—	—	2022年度募集休止			1	0	0				
	Cornell College				2.8	英語	79	6.0	—	—	2	9	2	1	5	1				
	DePauw University				3.0	英語	85	6.5	—	—	1	4	1	1	3	0	TOEFL iBT:各セクション20以上			
	Emory & Henry College				2.5	英語	78	6.0	—	—	2	7	2	2	4	0	TOEFL iBT:各セクション18以上 IELTS:各セクション5.0以上			
	George Mason University		2.5		英語	80	6.5	—	—	2022年度募集休止			3	3	2					
	Georgia State University		2.5		英語	69	6.0	—	—	1	15	2	2	11	2					
	Goucher College		2.5		英語	80	6.5	—	—	1	6	1	2	11	3					
	Hamline University		通年:8~5月/半期:8~12月		2.5	英語	79	6.5	—	—	1	6	1	2	13	3				
	Hawai'i Pacific University		2.8		英語	80	6.0	—	—	1	7	1	2	8	2	TOEFL iBT: Writing25以上 IELTS: Writing6.0以上				
	Hendrix College		2.5		英語	94	7.0	—	—	2	3	1	2022年度より募集開始							
	IE3		Eastern Oregon University		後期	通年:9~6月	1~3	2.5(学部) 3.0(大学院)	英語	80	6.5	—	—	合計 1名*	1	1	合計 1名	0	0	TOEFL iBT:各セクション16以上(学部)、各セクション18以上(大学院) IELTS:各セクション 5.0以上かつReading/Writing 6.0以上(学部)、各セクション5.5以上かつReading/Writing 6.5 以上(大学院) 募集人数については第1~3希望から、IE3が留学先を決定。
	Oregon Institute of Technology		私費枠あり																	
	Oregon State University		私費枠あり																	
	Portland State University		私費枠あり																	
	Southern Oregon University		私費枠あり																	
	Western Oregon University		私費枠あり																	
	Illinois Wesleyan University		半期:8~12月		2.4	英語	80	6.5	—	—	2	2	0	1	1	0	TOEFL iBT:各セクション20以上 履修不可: Education, Theatre, Nursing			
	Linfield University		通年:8~5月/半期:8~12月		2.8	英語	80	6.5	—	—	1	2	1	1	3	1	TOEFL iBT: Writing24以上 IELTS: Writing7.0以上 TOEFL iBT: 68またはIELTS: 5.5でも出願可。ただし留学先での履修科目に制約あり。ELCP (English Language Culture Program)の授業をメインに履修し、正規科目は一部のみとなる (科目数は語学力による)。 履修不可: Nursing			
North Central College	通年:8~4月/半期:8~12月	3.0	英語	69	6.0	—	—	1	22	1	1	19	1							
Northeastern State University	2.5	英語	68	5.5	—	—	1	16	1	1	5	1								
Northern Arizona University	通年:8~5月/半期:8~12月	2.5	英語	70	6.0	—	—	1	15	1	1	6	1							
Salisbury University	2.4	英語	79	6.5	—	—	1	8	1	2	10	2								
San Diego State University	半期:8~12月	2.5	英語	80	6.5	—	—	1	1	1	1	9	1	ビジネスなど人気専攻の科目履修ができない可能性がある。 米国籍保持者(二重国籍者・永住権・グリーンカード保持者)は出願不可。						
San Francisco State University	通年:8~5月/半期:8~12月	2.5	英語	68	6.0	—	—	5	34	5	3	26	3	履修不可: Nursing 米国籍保持者(二重国籍者・永住権・グリーンカード保持者)は出願不可。						
University of Florida	通年:8~4月/半期:8~12月	2.4	英語	80	6.0	—	—	1	31	1	2	21	2							
University of Guam	通年:8~5月/半期:8~12月	2.5	英語	68	5.5	—	—	1	9	1	2	3	1							
University of Northern Colorado	2.5	英語	72	6.0	—	—	2	12	3	3	12	2	TOEFL iBT: Reading/Listening16以上、Speaking/Writing18以上 IELTS:各セクション5.5以上							
University of San Diego	2.4	英語	80	6.5	—	—	1	16	1	1	10	1								
University of South Carolina, Darla Moore School of Business	通年:8~5月/半期:8~12月	2.4	英語	77	6.5	—	—	1	5	1	2022年度より募集開始			経営学部、経済学部、国際政治経済学部(国際経済学科)のみ出願可能。 履修不可: Nurse, Law, Medicine						
University of Vermont	3.0	英語	79	6.5	—	—	3	13	3	2	5	1	Studio Arts科目の履修は難しい。							
University of Washington	通年:9~6月	3.0	英語	83(学部) 92(大学院)	7.0	—	—	3	13	3	3	7	3	Architecture, Communications, Economics, Psychology, Design, Law, Societies & Justice, Mathは現地の正規学生が優先されるため、交換留学生の科目履修が非常に難しい。 大学院生は専攻によって、より高い英語スコアが求められるため、事前に国際センターに相談する こと。						
Wichita State University	通年:8~5月/半期:8~12月	2.4	英語	68	5.5	—	—	1	25	1	2	12	2	履修不可: Education, Medicine, Nursing, Pharmacy						
イギリス	Oxford Brookes University	後期	通年:9~5月/半期:9~12月	1~3	2.8	英語	—	6.0	—	—	5	14	6	5	11	5	IELTS: Reading/Writing6.0以上、Listening/Speaking5.5以上			
	University of Hertfordshire		通年:9~5月		3.0	英語	—	6.0(学部) 6.5(大学院)	—	—	4	13	4	4	5	3	IELTS:各セクション5.5以上 学部科目のみ履修可能。			
	University of Kent		通年:9~6月/半期:9~12月		3.0	英語	—	6.5	—	—	5	6	2	5	6	3	IELTS for UKVI: Reading/Writing6.0以上、Listening/Speaking5.5以上 履修不可: Law, Medicine, Pharmacy			
	University of Sheffield		通年:9~6月		3.0	英語	—	6.0	—	—	2	14	2	2	2	1	IELTS:各セクション5.5以上 履修不可: Law, Nursing, Midwifery, Languages and Culture			
	University of Stirling		半期:9~12月		3.0	英語	—	6.0	—	—	1	4	1	1	5	1	IELTS UKVI:各セクション5.5以上 履修不可: Nursing, Social Work, Education			
アイルランド	National University of Ireland, Galway	後期	通年:9~5月/半期:9~12月	2~3	3.0	英語	88	6.5	—	—	1	2	1	2	1	1				
	Waterford Institute of Technology			1~3	2.4	英語	68	5.5	—	—	1	17	2	2	6	2				
											合計	68	487	66	75	291	62			

協定校留学(派遣交換/私費)

認定校留学

短期プログラム

青山学院大学の留学サポート

■協定校の出願資格・募集実績

※2022年度募集要項です。募集校や出願資格内容は変更になる可能性があるため、詳細は当該年度の募集要項を参照すること。  
 ※2022年度募集休止の協定校については、2021年度の出願資格内容を記載。

※出願資格の\*は備考欄も必ず参照すること。  
 ※募集人数：通年の場合の募集人数を記載。

※出願件数：第1～第5志望までの合計件数。  
 ※合格者数：半期の合格者が2名以上いる場合は、募集人数を上回る場合がある。

後期募集(ヨーロッパ)

国/地域	大学名	留学期間 (通年/半期)	留学期間	2022年度 派遣募集実績										2021年度派遣募集実績			備考
				出願資格						募集人数*	出願件数*	合格者数*	募集人数	出願件数	合格者数		
				出願学年	G.P.A.	語学能力			※出願言語を確認のうえ、英語または第二外国語の語学力を証明する書類を提出。								
出願言語	TOEFL iBT	IELTS	語学能力試験 (CEFR基準)*1	語学能力認定書	出願言語	TOEFL iBT	IELTS	語学能力試験 (CEFR基準)*1	語学能力認定書								
スペイン	Catholic University of Murcia	後期	通年：9～6月	1～3	2.4	スペイン語	72	6.0	B2	スペイン語	1	0	0	1	1	0	英語での学部専門科目を履修希望の場合はスペイン語の語学能力証明書に加え、左記TOEFL iBT/IELTSのスコア以上を提出。 交換留学生は少なくとも所属大学での専門と同じ分野科目を60%以上選択しなければならない。 英語での授業はModern Languages, Sport Sciences, Education (limited)、Business Administrationに限られている。
	Universitat Politècnica de València		通年：9～6月	1～3	2.5	スペイン語	80	6.0	B2	スペイン語	1	0	0	2022年度より募集開始			英語での学部専門科目を履修希望の場合はスペイン語の語学能力認定書に加え、左記TOEFL iBT/IELTSのスコア以上を提出。 交換留学生は留学先大学での所属学部の科目を80%以上選択しなければならない。
	University of Córdoba		通年：9～7月	1～3	2.4	スペイン語	72	6.0	B2	スペイン語	1	0	0	1	2	1	英語での学部専門科目を履修希望の場合はスペイン語の語学能力認定書に加え、左記TOEFL iBT/IELTSのスコア以上を提出。 履修不可：Medicine, Veterinary, Nursing, Physiotherapy
	University of Salamanca		通年：9～6月	1～3	2.4	スペイン語	72	6.0	B1	スペイン語	1	0	0	1	1	1	英語での学部専門科目を履修希望の場合はスペイン語の語学能力認定書に加え、左記TOEFL iBT/IELTSのスコア以上を提出。 履修不可：Medicine, Philology
イタリア	University of Bologna	後期	通年：8～7月	1～3	2.4	イタリア語 または英語	68	5.5	B1	イタリア語	2	9	2	2	7	2	イタリア語の学部専門科目を履修する場合はCEFR B1レベルのイタリア語能力があることが望ましい。ない場合は留学開始までにイタリア語力をB1レベルまで向上させるよう努力すること。
	University of Cagliari		通年：9～7月	1～3	2.4	イタリア語	68	5.5	B1	イタリア語	2	0	0	2	1	1	英語開講科目を履修希望の場合は左記TOEFL iBT/IELTSスコアを取得していることが望ましい。 イタリア語CEFR B1以上の能力が必要。
フランス	Groupe EDH (L'école des nouveaux métiers de la communication; L'école du management de la culture et du marché de l'art; L'école du nouveau journalisme)	後期	通年：9～6月/半期：9～12月	1～3	2.5	フランス語 または英語	72	6.0	B2	フランス語	2	4	2	2	3	0	TOEFL iBT/IELTSで出願する場合は、英語での学部専門科目はCommunication (EFAP)で通年につき約10科目程度、もしくはArts Management (ICART)で通年につき4～5科目程度の開講のみ。(Journalism (EFJ)は英語での出願不可) 履修分野：EFAP (Communication)、ICART (Arts Management)、EFJ (Journalism)
	Insitut d'Etudes Politiques de Grenoble		通年：9～6月/半期：9～1月		2.4	フランス語	72	6.0	B2	*2	2022年度募集休止			2	1	0	
	Université de Franche-Comté		通年：9～5月/半期：9～12月		2.4	フランス語	—	—	B2		2	1	0	2	1	0	履修不可：Medicine, Pharmacy
	Université de la Sorbonne Nouvelle – Paris III		通年：9～5月/半期：9～12月		3.0	フランス語	72	6.0	B2		1	1	1	3	1	0	英語での学部専門科目を履修希望の場合はフランス語の語学能力認定書に加え、左記TOEFL iBT/IELTSスコア以上を提出。 履修不可：ESITのTranslation
	Université de Lorraine		通年：9～6月/半期：9～12月		2.4	フランス語	68	5.5	B2		1	2	0	2022年度より募集開始			英語での学部専門科目を履修希望の場合はフランス語の語学能力認定書に加え、左記TOEFL iBT/IELTSスコア以上を提出。
	Université de Pau et des Pays de l'Adour		半期：9～2月		2.4	フランス語	72	6.0	B2		3	0	0	3	0	0	文学部、国際政治経済学部(国際経済学科)、経済学部のみ応募可能。ただし出願前に必ず国際センターに相談すること。 英語での学部専門科目を履修希望の場合はフランス語の語学能力認定書に加え、左記TOEFL iBT/IELTSスコア以上を提出。 履修分野：Histoire de l'Art, Langues, Linguistique, Economie-Gestion, Lettres (Pau & Bayonne Campus)。
	Université de Tours		通年：9～5月/半期：9～12月		2.4	フランス語	72	6.0	B2		4	1	1	4	1	0	英語での学部専門科目を履修希望の場合はフランス語の語学能力認定書に加え、左記TOEFL iBT/IELTSスコア以上を提出。 履修不可：Medicine
	Université Jean Monnet		通年：9～6月/半期：9～1月		2.5	フランス語	72	6.0	B2		4	0	0	1	0	0	英語での学部専門科目を履修希望の場合はフランス語の語学能力認定書に加え、左記TOEFL iBT/IELTSスコア以上を提出。
スイス	Université de Genève	後期	通年：9～6月	1～3	2.8	フランス語 または英語	72	6.0	*備考欄参照		—	2	7	2	2	1	1
ドイツ	Heinrich-Heine University of Düsseldorf	後期	通年：10～7月	1～3	3.0	ドイツ語	—	—	B1	ドイツ語	2	0	0	4	1	1	
	Ludwigshafen University of Business and Society		通年：9～7月		2.4	ドイツ語	—	—	B2	ドイツ語	2	0	0	2	1	0	
	Paderborn University		通年：10～7月		2.4	ドイツ語 または英語	72	6.0	B2	ドイツ語	1	3	1	1	2	0	専攻分野：Arts & Humanities, Business Administration & Economics, Science, Mechanical Engineering and Computer Science, Electrical Engineering & Mathematics
	Saarland University				2.4	ドイツ語	—	—	B2	ドイツ語	2	0	0	2	0	0	
	University of Applied Sciences, Saarland (htw saar)		通年：10～7月 (Businessは8月まで)		2.4	ドイツ語 または英語	68	5.5	B1	ドイツ語	2	4	2	2	0	0	Businessを受講する場合は事前にhtw saarの教授へ受講可否を確認する必要がある。 Business School以外の専攻(Engineering, Civil engineering & Architectureなど)は英語科目が非常に少ない。特にSocial sciencesは英語科目がないので、英語で開講されている科目をよく確認すること。
	University of Cologne		通年：10～7月		2.4	ドイツ語 または英語	80	5.5	B2	ドイツ語	1	9	1	2	1	1	Faculty of Management, Economics and Social Sciencesは人数制限により履修できないこともある。
University of Münster	2.5	ドイツ語		72	6.0	B1	ドイツ語	3	0	0	3	1	0				
ロシア	Moscow State Institute of International Relations	後期	通年：9～7月/半期：9～1月	1～3	2.4	ロシア語	68	5.5	B1	ロシア語	2	1	0	2	1	0	英語開講科目を履修希望の場合は左記TOEFL iBT/IELTSスコアを取得していることが望ましい。 交換留学生はロシア語の語学授業を中心に履修する。 ロシア語開講科目を履修する場合はTORFL-II/B2以上必要。 ロシア語の語学系科目を履修する場合はTBL/A2以上必要。(語学能力認定書でも提出可能) 英語での学部専門科目を履修希望の場合はロシア語の語学能力認定書に加え、左記TOEFL iBT/IELTSスコア以上を提出。
	Moscow State University		通年：9～6月/半期：9～1月		3.0	ロシア語	79	6.0	*備考欄参照	ロシア語	2	2	1	2	1	1	

\*1:CEFR = Common European Framework of Reference for Language【ヨーロッパ言語共通参照枠】  
 第二外国語の語学能力試験で出願する場合は、該当する語学検定試験(例：DELE, DELF, ゲーテ検定試験, TORFL)の合格証のコピーを提出すること。  
 \*2: DELFB2以上または実用フランス語技能検定試験準1級以上に申し込んだ場合のみ、提出可能。ただし、左記試験に合格できない場合は学内選考合格後であっても留学取消となるので要注意。

協定校留学(派遣交換/私費)

認定校留学

短期プログラム

青山学院大学の留学サポート

■協定校の出願資格・募集実績

※2022年度募集要項です。募集校や出願資格内容は変更になる可能性があるため、詳細は当該年度の募集要項を参照すること。  
 ※2022年度募集休止の協定校については、2021年度の出願資格内容を記載。

※出願資格の\*は備考欄も必ず参照すること。  
 ※募集人数：通年の場合の募集人数を記載。

※出願件数：第1～第5志望までの合計件数。  
 ※合格者数：半期の合格者が2名以上いる場合は、募集人数を上回る場合がある。

後期募集(ヨーロッパ)																	
国/地域	大学名	留学期間 (通年/半期)	留学期間	2022年度 派遣募集実績									2021年度派遣募集実績			備考	
				出願 学年	G.P.A.	出願資格				募集 人数*	出願 件数*	合格 者数*	募集 人数	出願 件数	合格 者数		
						出願言語	TOEFL iBT	IELTS	語学能力 試験								語学能力 認定書
ハンガリー	Eötvös Loránd University	後期	通年:9~7月	1~3	2.4	英語	72	6.0	—	—	2	2	2	1	3	0	
スウェーデン	Kristianstad University		通年:8~6月/半期:8~1月	2~3	2.4	英語	68	5.5	—	—	4	16	4	4	8	4	
フィンランド	Laurea University of Applied Sciences		通年:8~6月/半期:8~1月	1~3	3.0	英語	72	6.0	—	—	2	6	2	2	0	0	
	Tampere University		通年:8~5月/半期:8~12月		2.4	英語	92	6.5	—	—	3	3	1	3	2	1	
ブルガリア	Sofia University		通年:10~7月	1~3	2.4	英語	81	6.0	—	—	1	3	1	2021年度募集休止			本学での専攻に近い専門科目を履修すること。
スロベニア	University of Ljubljana, Faculty of Arts		通年:10~7月	1~3	2.4	英語	79	6.0	—	—	2	4	2	2	0	0	
ポーランド	Jagiellonian University		通年:10~6月	1~3	3.0	英語	68	5.5	—	—	2022年度募集休止			2	3	1	
	Warsaw University of Technology				2.4	英語	87	6.0	—	—	1	1	1	1	0	0	
オランダ	Amsterdam University of Applied Sciences		通年:9~7月	2~3	2.4	英語	80	6.0	—	—	1	5	1	1	2	1	
	Rotterdam University of Applied Sciences				1~3	2.4	英語	80	6.0	—	—	1	8	1	1	6	2
				合計				61	92	28	63	52	18				

後期募集(MISEN) ※MISEN Program:5ページ参照																	
国/地域	大学名	留学期間 (通年/半期)	留学期間	2022年度 派遣募集実績									2021年度派遣募集実績			備考	
				出願 学年	G.P.A.	出願資格				募集 人数*	出願 件数*	合格 者数*	募集 人数	出願 件数	合格 者数		
						出願言語	TOEFL iBT	IELTS	語学能力 試験								語学能力 認定書
アメリカ	LaGrange College	後期	通年:8~5月/半期:8~12月	1~3	2.4	英語	68	6.0	—	—	2	6	2	2	2	0	
	Nebraska Wesleyan University		半期:8~12月	2.5	英語	71	5.5	—	—	1	2	1	1	2	1		
				合計				3	8	3	3	4	1				

後期募集(ACUCA) ※ACUCA SMS Program:5ページ参照																	
国/地域	大学名	留学期間 (通年/半期)	留学期間	2022年度 派遣募集実績									2021年度派遣募集実績			備考	
				出願 学年	G.P.A.	出願資格				募集 人数*	出願 件数*	合格 者数*	募集 人数	出願 件数	合格 者数		
						出願言語	TOEFL iBT	IELTS	語学能力 試験								語学能力 認定書
インドネシア	Atma Java University, Yogyakarta	後期	半期:8月~12月	1~3	2.8	英語	68	5.5	—	—	2	0	0	2	0	0	
	Parahyangan Catholic University				3.0	英語	95	7.0	—	—	2022年度募集休止			1	0	0	
	Petra Christian University				2.8	英語	68	5.5	—	—	4	0	0	4	0	0	
	Sanata Dharma University				3.0	英語	68	5.5	—	—	5	0	0	1	0	0	
タイ	Asia-Pacific Interbational University				2.5	英語	68	5.5	—	—	2022年度募集休止			1	1	0	
				合計				11	0	0	9	1	0				

後期募集(協定校 私費) ※協定校留学(私費):5ページ参照 ※最新の授業料の額は変更になる可能性があります。また、滞在費・生活費・教材費・医療保険代などを含んでいません。 ※規定単位数以上履修した場合や特別な費用を必要とする授業を履修した場合、授業料が加算される可能性があります。																	
国/地域	大学名	留学期間 (通年/半期)	留学期間	2022年度 派遣募集実績									2021年度派遣募集実績			備考	
				出願 学年	G.P.A.	出願資格				募集 人数*	出願 件数*	合格 者数*	募集 人数	出願 件数	合格 者数		
						出願言語	TOEFL iBT	IELTS	語学能力 試験								語学能力 認定書
アメリカ	IE3 IE3 Global: アメリカ合衆国オレゴン州にある複数の大学から構成される大学機構のこと。	後期	通年:9月~6月	1~3	2.4	英語	68	5.5	—	—	1	0	0	1	0	0	授業料(通年):約\$21,000
					2.4	英語	68	6.5	—	—	1	0	0	2021年度募集休止			授業料(通年):約\$31,000
					2.5(学部) 2.8(大学院)	英語	80	6.5	—	—	1	0	0	1	0	0	授業料(通年):約\$33,000 TOEFL iBT:各セクション16以上(学部)、各セクション18以上(大学院)
					2.4(学部) 3.0(大学院)	英語	71(学部) 80(大学院)	6.0(学部) 6.5(大学院)	—	—	1	0	0	1	0	0	授業料(通年):約\$30,000 TOEFL iBT:Reading/Writing15以上(学部)、Reading/Writing18以上(大学院) IELTS:Reading/Writing6.0以上(学部)、Reading/Writing6.5以上(大学院)
					2.4	英語	68(学部) 76(大学院)	5.5(学部) 6.0(大学院)	—	—	1	0	0	1	1	1	授業料(通年):約\$27,000 IELTS:各セクション5.0以上(学部)、各セクション5.5以上(大学院)
					2.5	英語	68(学部) 79(大学院)	5.5(学部) 6.0(大学院)	—	—	1	0	0	1	0	0	授業料(通年):約\$29,000
アメリカ	トップ レベル	後期	通年:8~5月/半期:8~12月	2.4	英語	79	6.0	—	—	1	1	1	1	0	0	授業料(通年):約\$26,000、(半期):約\$13,000	
			半期:9~12月	3.0	英語	85	6.5	—	—	2022年度募集休止			3	0	0	授業料(半期):約\$26,000	
			通年:9~5月/半期:9~12月	3.0	英語	100	7.0	—	—	3	0	0	3	0	0	授業料(通年):約\$27,000 TOEFL iBT:各セクション25以上 IELTS:各セクション6.5以上 人文社会系など約3000科目から履修が可能。	
			通年:8~5月/半期:8~12月	3.3	英語	100	7.0	—	—	3	0	0	3	0	0	授業料(通年):約\$18,000~約\$31,000 College of Liberal & Professional Studies (LPS)に所属し、専門科目を履修する。(学部生のみ) TOEFL iBT:各セクション25以上 IELTS:各セクション6.5以上 最低4科目の履修が必要となる。(通年留学生はそれ以上は履修しない)	
				合計				13	1	1	15	1	1				

協定校留学(派遣交換/私費)

認定校留学

短期プログラム

青山学院大学の留学サポート

# 認定校留学

Approved Institution  
Study Abroad

## 認定校留学とは

協定校留学では自分の留学目的が果たせない場合、学習目的の合う学位授与件を有する大学または高等教育機関を選定・出願し、入学許可を取得したうえで、本学に認定校留学の申請を行い、認められた場合に協定校留学に準じた留学ができる制度です。協定校留学同様、留学期間が本学の在籍期間に算入され、留学先大学での修得単位を卒業要件として単位認定された場合、4年間で卒業が可能となります。なお、認定校留学の場合は本学と認定校の双方へ授業料を支払う必要があります。また、認定校留学をするためには、申請者自身ですべての申請準備を行う必要があり、実際に出発するまでに1年～1年半程度の準備期間が必要です。このため、前期出発の場合は9月頃まで、後期出発の場合は4月頃までに必要書類を整え、留学前に国際センターに申請を行う必要があります。認定校留学を考えている場合は、必ず事前に国際センターに申し出てください。

## 共通の出願資格

以下の条件を  
満たしていること

※2022年4月現在

- 1 出発時までに、本学に少なくとも1年以上在籍していること
- 2 学部においては1ヶ年につき30単位以上、大学院においては16単位以上を既に修得していること
- 3 G.P.A.が2.4以上かつ希望留学先のG.P.A.条件を満たしていること  
注) 1年次出願者の場合: 1年次終了時に上記条件を満たしていること
- 4 留学先は学位授与権を有する大学または高等教育機関の正規課程であること  
注) コミュニティカレッジ、TAFE、ファウンデーションコース、CEGEPなどの短期大学、専門学校、大学進学準備コースおよび語学学校等は対象となりません
- 5 下記要件かつ希望留学先が要求する条件を満たしていること
  - 英語圏に留学する場合: TOEFL iBT 68点以上、またはIELTS 5.5以上を取得していること  
注) 上記条件以下で入学可能な場合でも、本学の認定校留学としては認められません
  - 英語圏以外に留学する場合: 希望留学先の要求する条件を満たしていること
- 6 保証人の同意を得られること
- 7 心身ともに留学に耐えられる健康状態であること  
注) 毎年度初頭に実施される保険管理センターの健康診断を受診すること

## 留学期間

留学先によって採用している学期制が異なりますが、セメスター制(2学期制)の留学先の場合、留学期間は1学期(約3ヶ月)または2学期(約8～9ヶ月)を選択することが可能です。ただし、トリメスター制(3学期制)・クォーター制(4学期制)の留学先の場合、帰国後の本学での単位認定時期の関係から、留学期間は3学期(約9～10ヶ月)のみとなります。

## 出願書類

- 1 外国留学願書
- 2 本人と保証人の誓約書
- 3 英語で出願する場合: TOEFL Examinee Score Report または IELTS (Academic Module) Test Report Form (いずれも学内出願前約1年以内に受験したもの) もしくは、希望留学先が求める語学能力を証明するもののコピー  
英語以外の第二外国語で出願する場合: 各言語の語学能力試験の成績証明書/語学能力試験を受験していない場合は、語学能力認定書(所定用紙・厳封)を本学語学担当教員(非常勤講師を含む)に作成を依頼すること
- 4 和文または英文の推薦書  
(本学専任教員による申請者を推薦する文書)
- 5 希望留学先の入学許可書または出願済であることが確認できるもの

志望する留学先大学が「認定済み留学先大学一覧(26ページ)」にない場合、1～5の書類に加え、以下6～8の書類も提出する。

- 6 希望留学先でのプログラムについての詳細な資料  
(希望留学先の大学概要、プログラム内容、留学期間、出願資格、履修科目、成績評価制度、授業時間数、学事暦を含む)
- 7 プロファイルシート
- 8 認定校選定理由書

◆ 共通の出願資格と希望留学先が求める資格を相互に満たしていることを条件に、上記1～8の書類を国際センターが指定する期日までに提出してください。所定用紙は国際センターウェブサイトからダウンロードしてください。

国際センターウェブサイト > 青学から海外へ > 各種ダウンロード  
<http://web.iec.aoyama.ac.jp/>

## 留学準備スケジュール

※出願期間は各大学により異なります。

前期出発 韓国・オーストラリア・ニュージーランド・ アメリカ(クォーター制)など		後期出発 アメリカ・カナダ・イギリス・ ヨーロッパ(一部を除く)など	
〈出発前年度〉		〈出発前年度〉	
5月	★募集要項公開 出願先を決定し次第、国際センターに7月頃までに申し出 語学能力試験受験、エッセー、推薦書など出願書類を整える	11月	★募集要項公開 出願先を決定し次第、国際センターに3月頃までに申し出 語学能力試験受験、エッセー、推薦書など出願書類を整える
6月		12月	
7月	○奨学金募集要項開示	1月	語学能力試験受験、エッセー、推薦書など出願書類を整える
8月	この頃までに書類を準備、希望留学先の締切日までに 希望留学先から入学許可書が届く	2月	この頃までに書類を準備、希望留学先の締切日までに 希望留学先から入学許可書が届く
9月		3月	
★出願期間(9月頃)		★出願期間(4月頃)	
○奨学金応募		○奨学金募集要項開示	
○奨学金書類審査・面接		○奨学金応募	
10月	合格発表(11月上旬～中旬) ○奨学金合格発表	4月	渡航準備: ビザ申請、寮手配など ○奨学金書類審査・面接
11月		5月	
12月	渡航準備: ビザ申請、寮手配など	6月	合格発表(5月下旬～6月上旬) ○奨学金合格発表
〈出発年度〉		〈出発年度〉	
1月	留学スタート	7月	留学スタート
2月		8月	
		9月	



## 認定済み留学先大学一覧

国名	認定校名	国名	認定校名		
アメリカ	Dublin City University	アメリカ	University of Minnesota		
	Trinity College, Dublin, University of Dublin		University of Nebraska		
	Allegheny College		University of North Alabama		
	American University		University of North Carolina, Chapel Hill		
	Appalachian State University		University of Oregon		
	Arcadia University		University of Pennsylvania		
	Ashland University		University of Pittsburgh		
	California State University, Chico		University of Richmond		
	California State University, East Bay		University of St. Thomas, Minnesota		
	California State University, Fullerton		University of Utah		
	California State University, Long Beach		Val Paraiso University		
	California State University, Monterey Bay		Vanderbilt University		
	California State University, Sacramento		Western Oregon University		
	Carroll College		Youngstown State University		
	Columbia University		Goldsmiths College, University of London		
	Cornell University		King's College London, University of London		
	Duke University		London Metropolitan University		
	Harvard University (Harvard College)		London School of Economics and Political Science, University of London		
	Indiana University-Purdue University Indianapolis (IUPUI)		Queen Mary, University of London		
	アメリカ		Johns Hopkins University	イギリス	Royal Holloway, University of London
Miami University, Oxford Ohio		University of Birmingham			
Millsaps College		University of Cambridge			
Missouri University of Science and Technology		University of East London			
Montana State University		University of Edinburgh			
New York University		University of Essex			
Pacific Lutheran University		University of Leeds			
Pennsylvania State University		University of Manchester			
Salem State College		University of Oxford, New College/ Magdalen College			
San Diego State University		University of Sussex			
San Jose State University		University of Westminster			
Seattle Pacific University		University of York			
Sonoma State University		イタリア	Università Cattolica del Sacro Cuore, Milano		
St. Michael's College		オランダ	Vrije Universiteit Amsterdam		
State University of New York at Plattsburgh		オーストラリア	Griffith University		
Syracuse University			Swinburne University of Technology		
Tennessee Tech University			University of New South Wales		
University of Iowa		University of Queensland	カナダ		McGill University
University at Albany, State University of New York		Queen's University	ニュージーランド		University of Auckland
University of Arizona		フランス	Université Catholique de l'Ouest		
University of California, Los Angeles	Université Paul-Valéry-Montpellier III	メキシコ	Escuela Nacional de Antropología e Historia		
University of Colorado, Boulder					
University of Delaware					
University of Evansville					
University of Illinois, Urbana Champaign					
University of Massachusetts					

※2022年4月現在の一覧です。

※上記に記載されていない海外の大学を、認定校留学として申請する場合は、25ページ出願書類の6～8の書類も提出する必要があります。



## 留学サポート事業者について

前述したとおり、認定校留学は申請者自身ですべての申請準備を行う必要があります。個人で直接留学先へ出願し、出発準備をすべて自分で行うことは可能ですが、それが難しい、または不安な場合は、留学をサポートする事業者と相談する方法もあります。

以下で紹介する事業者は本学と認定校留学の提携を結んでいる事業者です。ただし、以下に記載する事業者及びその他から提供されるプログラム費用、内容、その他留学に関わる指導内容などに関しては、本学は一切責任を負いません。留学サポート事業者との契約やその他すべての事項は個人の責任で行ってください。

### ◆ 一般財団法人 JSAF/Global Academic Education



一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF)の元で、主に学部留学プログラムを取り扱う団体であり、一人でも多くの日本人が海外で活躍し、国際社会に貢献することを目的としています。派遣先認定大学の選定にあたっては、1)世界的な大学の評価、2)留学先の受入れ体制、3)安全面などを重視し、米国、英国、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、スペインなどの有名大学と協定を結んでいます。

<http://www.japanstudyabroad.org/>

### ◆ The Study Abroad Foundation



SAFスタディ・アブロード・ファウンデーション(The Study Abroad Foundation以下SAF)は米国インディアナ州の認可非営利教育機関として国際的な大学ネットワーク(International University Network)を組織し、日本、中国、韓国を中心としたアジアの大学の学生モビリティ促進のために活動をしている団体です。北米、ヨーロッパ、オセアニアのトップレベルのSAFメンバー大学の協力の下、交換協定に基づかない学生派遣プログラム(Visiting Student Program)を推進することにより2000年の設立以降、8,000人以上のアジアの大学生を欧米圏の大学へ派遣しています。

<http://japan.studyabroadfoundation.org/>

上記、留学サポート事業者以外にも多種多様なプログラムを持った事業者が多く存在します。費用、プログラム及び契約の内容などに関して、カウンセラーと十分に話し合い、熟慮を重ねたうえで自己の判断と責任の元で、申込みをしましょう。

なお、一定の基準を満たした留学事業者を第三者の立場で認定する、J-CROSS(一般社団法人 留学サービス審査機構)のサイトを参考にしても良いでしょう。

<http://www.jcross.or.jp/>

## 認定校留学Q&A

### Q1 認定校留学と認定校留学の違いは何ですか？

A1 認定校留学では留学先への出願手続きや各種申請を個人で行うこと、本学の学費に加えて留学先の授業料を支払うことが大きな違いです。ただし、単位認定の申請や継続履修制度の適用は交換留学生と同様です。

### Q2 語学留学をしたいのですが、認定校留学として申請はできますか？

A2 認定校留学は正規の学部課程もしくは大学院課程への留学のみ対象となります。語学学校(ESL)、短期大学、専門学校、大学進学準備コースへの留学は認められません。また、語学力の条件付きでの正規課程についても、認定校留学の対象外となります。

### Q3 留学先の授業が青学の授業期間の途中から始まります。認定校留学の申請はできますか？

A3 留学開始の時期が、本学の授業期間の途中である場合は、認定校留学の申請はできません。なお、前期出発とは2月\*~3月頃の授業開始、後期出発とは8月\*~9月頃に授業開始となる留学を指します。\*本学での定期試験期間終了後

### Q4 後期からの留学を考えています。認定校留学の申請をしたい場合、手続きの締切りはいつですか？

A4 まず出発年の3月頃までに国際センターに申し出た後、募集要項を確認し、出願書類をすべて揃えて、出願期間中に国際センターに申請してください。留学先への出願手続きについてはそれ以前に各自で行う必要があります。なお、次年度の前期からの留学を考えている場合は、出発前年の7月頃までに申し出、募集要項を確認し、出願期間中に国際センターに申請してください。

### Q5 どのような学内審査がありますか？

A5 書類審査があります。

### Q6 個人的に留学したのですが、帰国後、認定校留学の申請はできますか？

A6 できません。認定校留学生として留学する場合は、留学前に国際センターに申請しなければなりません。国際センター運営委員会、教授会の事前承認なしには、認めることはできません。

## 短期プログラム

# 海外語学・文化研修/ 海外文化体験/ 海外インターンシップ

Short-Term Program/  
Internship Abroad

- 下記研修一覧は実施予定であり、都合により変更・中止となることがあります。
- 海外語学・文化研修および海外インターンシップは所定の条件を満たすことにより、研修参加翌年度の前期に限り以下の科目において単位認定の対象となります。  
海外語学・文化研修：青山スタンダード科目・テーマ別科目 技能の領域「海外語学・文化研修」(2単位)  
海外インターンシップ：青山スタンダード科目・テーマ別科目 キャリアの技能(領域1)「インターンシップ」(2単位)
- 下記は国際センター主催のプログラムです。各学部実施の研修については、教務課(青山)／学務課(相模原)へお問い合わせください。

※すべて夏期(8～9月)・春期(2～3月)の休業期間に実施

実施時期		国・都市	研修先/ プログラム名	期間	研修内容/派遣先	宿泊	費用*1
夏期	春期						
8月初旬 ～9月上旬	—	アメリカ・サンフランシスコ	サンフランシスコ5週間プログラム	約5週間	一般企業、NGO/NPOでのマーケティング、語学学校など	民間レジデンス	約77万円*2
—	2月中旬 ～3月中旬	オーストラリア・シドニー	シドニー4週間プログラム	約4週間	一般企業、ホテル、学習塾、旅行会社、慈善事業団体、公立小中高校など	ホームステイ	約70万円*2
—	2月中旬 ～3月中旬	アメリカ・ロサンゼルス	アメリカグローバルキャリアプログラム	約4週間	旅行、出版、メディア、教育、製造、輸出入(主に日系企業)	ホテル(ビジネス研修中)+ホームステイ	約69万円*2
8月初旬 ～9月上旬	—	イギリス・マンチェスター	マンチェスター大学	約4週間	英語プログラム*3	学生寮	約60万円
8月初旬 ～9月上旬	—	フィリピン・マニラ	デラ・サールアラネタ大学	約3週間	英語プログラム	学生寮	約40万円
—	2月上旬 ～3月下旬	アメリカ・カリフォルニア	カリフォルニア大学デービス校	約4週間	英語プログラム	ホームステイ	約66万円
—	2月上旬 ～3月下旬	カナダ・カルガリー	カルガリー大学	約5週間	英語プログラム	ホームステイ	約56万円
—	2月上旬 ～3月下旬	イギリス・ロンドン	フットボール文化研修プログラム	約1週間	文化体験	ホームステイ	約45万円
—	2月上旬 ～3月下旬	カナダ・バンクーバー	SDGs研修プログラム	約1週間	文化体験	ホームステイ	約37万円

※1:費用は変更になる可能性があります。また、費用にはプログラム費用、寮・ホームステイ滞在費用、航空券代、海外旅行傷害保険料、燃油サーチャージ、空港使用料が含まれます。個人的性質の費用などについては、別途必要となりますのでご了承ください。

※2:奨励金制度あり(給付型:返済不要)

①学内奨励金:7～10万円

②JASSO奨学金(サンフランシスコ5週間プログラムのみ):月額10万円×2ヶ月  
JASSO奨学金を申請する場合は、英語力についてはTOEIC400点以上、TOEFL PBT435点以上、TOEFL iBT41点以上、IELTS5.0以上、英検準2級以上、前年度の本学英語科目の成績2.30以上のいずれかであることが必須。その他、家計収入基準等の詳細は募集要項で確認してください。

※3:英語の語学力を証明するスコア表を提出する必要があります。詳細は募集要項で確認してください。

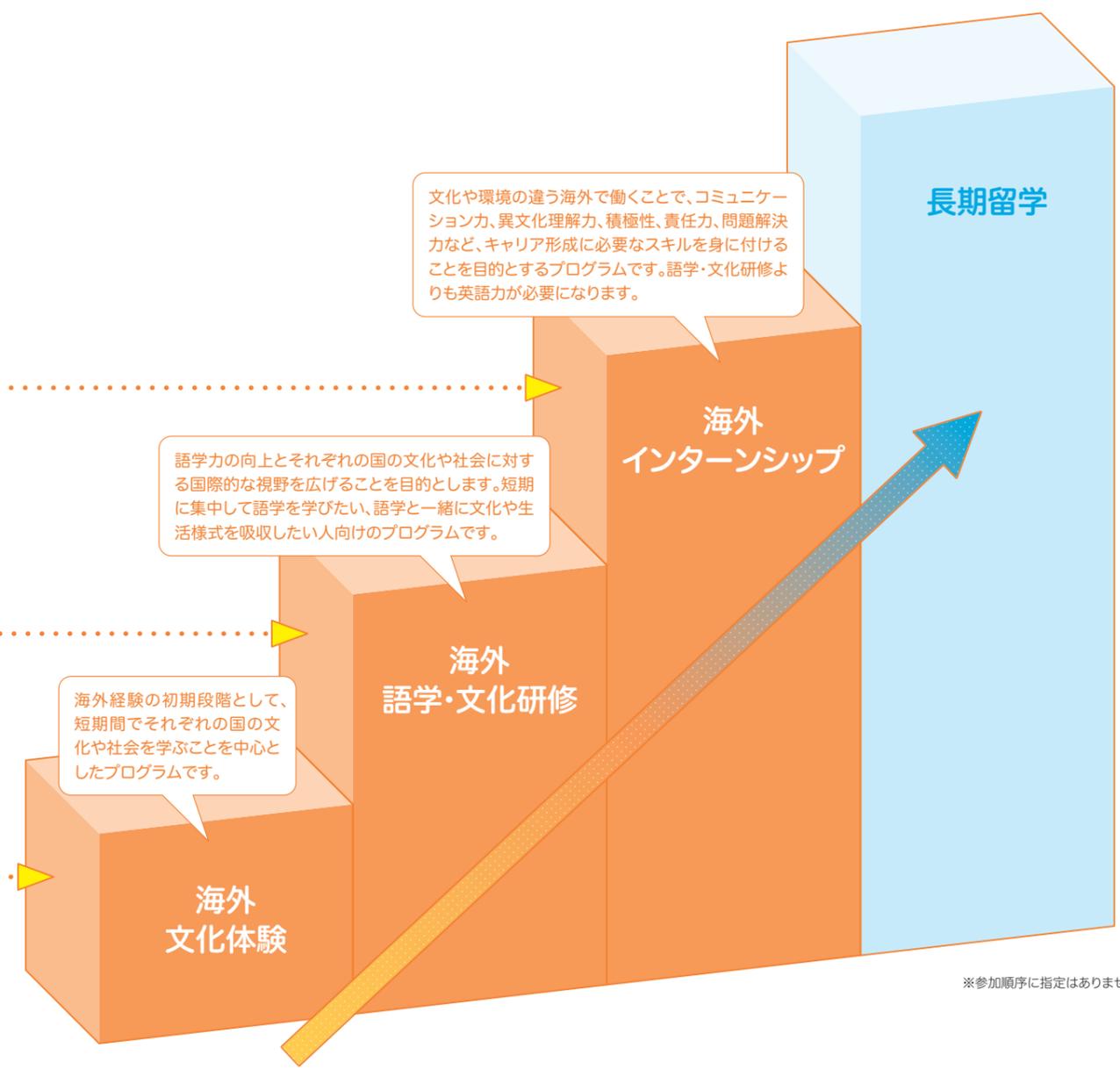
## 短期プログラムQ&A

### 【共通】

#### Q1 募集はいつ行われますか？

**A1** 各学期初頭にプログラム募集説明会があり、その後申込受付を実施します。夏期実施プログラムの説明会は例年4月中旬～4月下旬頃、春期実施プログラムの説明会は9月下旬～10月下旬頃になります。詳細は学生ポータルで確認してください。最新の募集要項及び申請書類等は国際センターウェブサイトを確認できます。

国際センターウェブサイト > 青学から海外へ  
<http://web.iec.aoyama.ac.jp/>



※参加順序に指定はありません。

#### Q2 申込に語学力はどの程度必要ですか？

**A2** 指定のない限り、どのプログラムも、意欲があり研修全体に参加可能であれば、語学力を問わずどなたでも参加可能です。そのうえで、海外インターンシップについては、日常会話程度の英語力があるとなお良いです。また、サンフランシスコ5週間プログラム(海外インターンシップ)については、プログラム参加前年度(1年生の場合は直近の学期)のG.P.A.がJASSO計算方式で2.30以上かつ英語力が一定以上(前項※2参照)であればJASSO奨学金を申請することができます。詳細は国際センターにお問い合わせください。

#### Q3 各プログラムの参加者はどのように決まりますか？

**A3** 応募者多数の場合は原則抽選となりますが海外インターンシップのみ、応募者多数の場合は書類選考を行って参加者を決定することがあります。

### 【海外インターンシップ編】

#### Q4 希望する分野で必ずインターンシップができますか？

**A4** 実習先は本学が提携するプログラム手配会社または実習候補先が面談のうえ、個人の経験やスキルに応じて決定します。なるべく希望に沿ったマッチングができるようにしていただきますが、受入先の状況などにより希望通りにならないこともあります。

#### Q5 インターンシップは有給ですか？

**A5** いいえ、無給です。



青山学院大学の  
留学サポート

奨学金

Scholarships

国際センターで取り扱う留学に関する奨学金制度には以下のものがあります。表は簡略化していますので、詳細については必ず募集要項で確認してください。なお、下記内容は変更になる場合があります。



★年度によって募集がない場合があります。

給付／貸与	給付	給付	貸与	給付
区分	学内	学内	学外	学外
奨学金名称	青山学院大学産学合同万代 外国留学奨励奨学金	青山学院 国際交流奨学金	(独)日本学生支援機構(JASSO) 第二種奨学金(短期留学)	(独)日本学生支援機構(JASSO) 海外留学支援制度(大学院学位取得型)
対象の留学	協定校	協定校	協定校	大学院(修士・博士)
	協定校(私費)	協定校(私費)	協定校(私費)	
	MISEN	MISEN	MISEN	
	ACUCA	ACUCA	ACUCA	
	認定校	認定校	認定校	
主な応募条件	・G.P.A.2.4以上	・G.P.A.2.4以上	・留学期間3ヶ月以上	・G.P.A.3.0以上 ・日本国籍or日本永住許可有 ・正式な学習課程開始: 2023年4月1日～2024年3月31日 ・2023年4月1日現在 修士:35歳未満 博士:40歳未満 ・学士取得or取得見込みの者 ・留学先大学が明示する語学能力以上(TOEFL iBT100、IELTS7.0、CEFR C1レベル以上)
支給額(円)	年額 ①協定校:50万円 ②認定校、協定校(私費):50～100万円 ③世界トップレベル大学*1:①または②に追加して50～100万円 ※半期は半額	20万円	月額2万円から12万円までの 1万円単位の金額の中から選択	①月額:8.9万～14.8万円 ※留学地域による ②授業料:1万米ドル相当までは実費額を支給。 超える場合は、採用状況により250万円を上限として追加支給する場合あり
2021年度採用実績 ※( )内は2019年度実績	35名 (45名)	7名 (3名)	※学費・奨学金課(青山)／学生生活課(相模原)に お問い合わせください。	108名 (93名 ※2020年度全国)
学内応募受付	【2022年度後期派遣留学生】2022年4月／【2023年度前期派遣留学生】2022年9月			2022年9月上旬～10月上旬
選考方法	書類選考			書類選考・面接選考
支給時期	留学先への到着確認後に支給(予定)			留学期間毎月
併給可否 ○…可 ×…不可 △…要相談	○留学のための他奨学金合計金額が万代以下 ×本学院・本学の他の給付奨学金	△他団体等 ×本学院・本学の他の給付奨学金	○JASSO第一種奨学金 ○本学院・本学の他の給付奨学金 ○他団体等	○JASSO第一種奨学金、第二種奨学金(貸与) ○他団体等

※1 世界トップレベル大学:QS World University Ranking または The Times Higher Education World Rankingにて100位以内の大学



奨学金Q&A

Q1 学内奨学金は応募すれば必ず受けられますか？

A1 奨学金の採用は、それぞれの奨学金制度の条件に従い、家計状況及び成績等を考慮して選考されます。それぞれの奨学金には採用枠があり、応募条件に合致していても必ず採用されるわけではありませんが、学内奨学金については応募者の約半数の方が何らかの奨学金に採用されています。

Q2 トビタテ！留学JAPAN等の学外の奨学金制度も大学を通じて応募するのですか？

A2 はい。学外の奨学金によっては、国際センターまたは学費・奨学金課(青山)／学生生活課(相模原)を通じて応募するものもあります。応募に関する詳細は学生ポータルまたは各奨学金支援団体のウェブサイト等で確認してください。

## 青山学院大学の 留学サポート IELTS



青山学院大学では、より多くの派遣留学生や海外体験学生の送り出しを目指して、主に英語圏への留学に必要な英語能力試験の1つであるIELTSの学内試験を在籍学生に提供しています。留学資格取得に、ぜひ積極的に活用してください。

### IELTS学内試験

青山学院大学を試験会場として、2022年度は青山キャンパスと相模原キャンパス合わせて計4回のIELTS学内試験を実施予定です。学内試験でIELTS 5.5以上のスコアを獲得した学生には、以下のとおり報奨金を支給します(ただし、対象者に条件あり)。申し込み等詳細については、国際センターウェブサイト、学生ポータルで確認してください。

#### 【2022年度試験日程】(予定)

	日程	キャンパス
第1回	6/4(土)	相模原
第2回	6/25(土)	青山
第3回	7/16(土)	相模原
第4回	8/20(土)	青山

◆「IELTS対策講座」「IELTS学内試験」

国際センターウェブサイト > 青学から海外へ > IELTS対策講座/学内試験  
<http://web.iec.aoyama.ac.jp/>

※IELTS特別会場試験を利用し、2023年度後期派遣留学(第一期)の出願を検討している方は8月までの試験を受験してください。

### 学内試験報奨金制度

国際センター主催IELTS学内試験または指定するIELTS for UKVI試験(Academic Module)において、IELTS Overall 5.5以上のスコアを取得した学生に報奨金を支給する制度です。ぜひ高スコアを目指してがんばってください。IELTS学内試験は青学生限定で実施しますが試験結果は公式スコアです。支給額および過去の対象者数は以下の通りです。(2020年度の実施なし)

スコア	報奨内容	対象者数 (2018年)	対象者数 (2019年)	対象者数 (2021年)
8.5	25,000円	1	0	0
8.0	25,000円	1	0	0
7.5	25,000円	7	3	2
7.0	20,000円	6	7	9
6.5	15,000円	13	17	14
6.0	10,000円	37	33	25
5.5	5,000円	43	43	13

#### 【支給条件】

- 学内で実施するIELTS試験日程のスコアであること(2021年度参考:6/5(土)、6/19(土)、7/17(土)、8/21(土))
- 学外で実施するIELTS for UKVI試験日程のスコアであること(2021年度参考:例年6~8月実施日が対象となりますが、正確な試験実施日については後日国際センターウェブサイトにて案内いたします。そちらをご確認ください。)
- 本学に在籍する学部生、大学院生、専門職大学院生(ただし、交換留学生、科目等履修生、地球社会共生学部生、他会場でのIELTS受験者は除く)
- 複数回受験した場合、単年度1人1回限り申請可

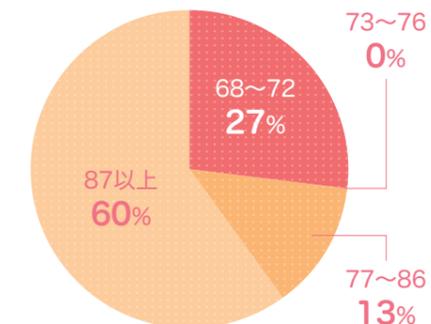
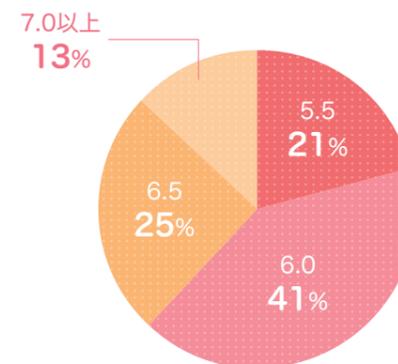
### 交換留学に合格した先輩の英語力ってどのくらい??

2022年度派遣で学内選考を通過した先輩の語学力を見てみましょう。

以下に記載するデータは英語力のみです。

交換留学合格者出願時のIELTSスコア	
5.5	30名
6.0	59名
6.5	35名
7.0以上	18名

交換留学合格者出願時のTOEFL iBTスコア	
68~72	4名
73~76	0名
77~86	2名
87以上	9名



### 合格者のコメント

#### Q1 どのようなテスト対策を行いましたか?

独学で参考書を解きました。普段はセクションごとに解き、テスト前日には本番と同じくWriting、Listening、Reading、Speakingを一気に時間を計って解きました。Writingは参考書の模範解答を読み、よく用いられる単語はその類義語とともに暗記することが役に立ちました。自分では客観的な採点ができないため、他人に見てもらいフィードバックをしてもらうことをお勧めします。Readingは語彙力が大事のため、わからなかった単語は単語帳を作って覚え直しました。Speakingは友人や家族に面接官になって質問をもらうと、本番と同じような環境で答えることができると思います。また、ネットに練習問題がたくさん載っているため、数をこなしてどのような話題にも対応できるようにしました。WritingとReadingは元々与えられる時間より5分短めに設定して解くことで、問題を解くスピードを早くしました。

**IELTS 7.5**

独学で参考書を使用しました。TOEFL iBTのReadingでは速読と正確性が問われるため、毎日英字新聞を読み、日頃から英文に慣れる練習をしました。特に苦手のWritingでは、文章を書くうえでよく使う単語や熟語を単語帳に書き写し、空き時間に眺めていました。※参考書は「ETS公認ガイドTOEFL iBT」を使用

**TOEFL iBT 97**

#### Q2 これから留学に向けてIELTSまたはTOEFL iBTを受ける人にアドバイスをください。

私は約10ヶ月間アメリカ合衆国のオレゴン州に留学しました。IELTSはReadingから攻めると一番効率が良いと思います! IELTSが求める単語のレベルを確認しながら、それらを自分のWritingやSpeakingに活用すれば成長できると思います。

**IELTS 7.0**

TOEFL iBTはパソコンで受けるテストのため、まずは慣れることが大切だと思います。私は実際、2回目に受講した点数が、初めて受講した時よりも20点上がりました。そのため、可能であれば一回以上受けることをお勧めします。対策としては、練習問題を何度も解き、単語を覚えることに力を入れました。特にSpeakingやWritingは、過去と似たような問題が出題されることがあるので、過去の問題を実際に解くと問題の傾向が掴めると思います。また、英語力は一気に伸びるものではないため、早めの対策や日頃の積み重ねが大事です。もし留学を少しでも考えているのであれば、一刻も早く対策を始め、計画的に受験することをお勧めします。

**TOEFL iBT 96**

# 交換留学体験談

## 充実したサンフランシスコでの学び

 2019年8月～2020年5月  
アメリカ サンフランシスコ州立大学

文学部 英米文学科  
小沼 瑞基

### ●留学先大学について

サンフランシスコのダウンタウンから地下鉄で約20分の場所に位置しており、大学の周辺は治安も良好です。キャンパスにはコンビニやカフェ等の設備も整っているため非常に便利でした。またSFSUは多様な人種の学生が通っているため、留学生でも馴染みやすかったです。交換留学生へのサポートが手厚く、大学がさまざまな行事を開催してくれるため安心して留学生生活をスタートさせることができました。社会問題等に感度の高い学生が多く、日々新しい学

びのある刺激的な生活を送ることができました。

### ●学業について

学生は学部に関われることなく、各自の関心に沿って授業を履修することができます。青山学院に比べ、より多くの分野を学ぶことができる点が魅力的でした。日々の学習に関しては日本にいた時の何倍もの労力と時間を費やしたと思います。授業後は毎日友人と夜まで図書館で勉強をする日々でしたが、それも今となっては良い思い出です。

### ●生活について

サンフランシスコは大都市のため、観光地も多く休日に行きたくありません。学生は市内のバスや電車を無料で利用できるため移動手段に困ることもありませんでした。大学の隣に大きなショッピングモールがあり、そこで生活に必要なものを何でも揃えることができたのはとても便利でした。私は学生団体で現地の学生に日本語を教える活動を行っており、この活動を通して多くの親しい友人に出会うことができました。SFSUは青山学院に比べサークル活動は盛んではありませんが、ぜひ何かしらの課外活動に参加することをお勧めします。また、青山学院の学生は基本的にSFSUの寮に入ることができないため自分でアパートを探さなくてはいい

ません。私は大学から徒歩5分程の場所でホームステイをしていたのですが、寮に比べて広く家賃も抑えることができたうえ、自由にアメリカでの生活を満喫できたのでとても満足でした。

### ●先輩へのアドバイス

SFSUはその他の留学生から聞いても本当に満足度の高い留学先です。私は留学中に何度もSFSUにして良かったと心から感じました。オープンマインドな人々に囲まれて過ごした留学期間は一生の財産になっています。約10ヶ月間の留学では、時には辛いことやモチベーションを保つことを難しく感じる時期があると思います。そうした時のためにも、留学で何を成し遂げたいのかという目的を明確に持つておくこと日々の原動力になると思います。また、留学先を選ぶにあたりさまざまな要素を考慮すると思います。アメリカであればどこでも良いと感じる方もいるかもしれませんが、実際に現地生活をすると感じる以上にどの都市、どの大学へ行くかはみなさんの生活に大きく影響します。そのため、留学先選びは妥協をせざるみなさんが本当に魅力を感じる大学を選択していただきたいです。私は今回の留学を通し、英語力のみでなく人間として成長できたと感じる部分が多くありました。周囲の友人を見ても、留学をして後悔をしたという人には一人も出会ったことがありません。それなので、もし留学に行くか迷っている方がいたら、ぜひ挑戦していただきたいです。このレポートを読んでSFSUでの留学に少しでも興味を持ってくださる方が増えたら幸いです。

## さまざまな国籍の友人を得たイギリスでの経験

 2019年9月～2020年6月  
イギリス シェフィールド大学

国際政治経済学部 国際政治学科  
長谷部 亜実

### ●留学先大学について

シェフィールド大学は、「イギリスのアイビーリーグ」とも呼ばれるラッセルグループに所属しているため、国際的にもトップレベルの大学です。大学では国籍を問わず世界中から集まった学生たちが社会科学から自然科学、医療やアートに至るまで、さまざまな学問を学んでいます。イギリスでも特に多様性がある大学で、29%以上の学生がイギリス以外の120ヶ国から来ているため、さまざまな国籍の友人ができました。

### ●学業について

私は、開発地理学などの日本ではあまりメジャーでない学問を学びに行ったので、自分の興味に従って専攻関係なく授業を履修していました。「留学生」という正規学生よりも履修が自由な環境を活かして、心理学や開発学、哲学を学びました。「勉強辛いや心に覚悟してね」と先輩から言われていたのだからビビっていましたが、正直、英語の辛さよりも授業の面白さの方が勝っていたのであまり苦ではなかったです。みなさん、安心して留学してください。

### ●生活について

生活面では、現地学生とできるだけ同じように生活

することを目標にしていました。同じ生活を送ることによって、文化の違いや、住まないといわれない生活感を感じようとしていたためです。授業をフル単でとり、現地のサークルやフィールドワーク、大学の体育会の部活にも参加しました。初めの頃は、実家暮らしだった私にとってはハードモードすぎて泣きそうになりましたが、最終的には帰国後にイギリス人とあるあるトークができるほどまで文化への理解が深まりました。部活動ではドッジボール部とフェンシング部に所属していましたが、練習や試合を通してメンバーとは大変仲良くなることができ、今でも連絡を取り合う仲になっています。

### ●先輩へのアドバイス

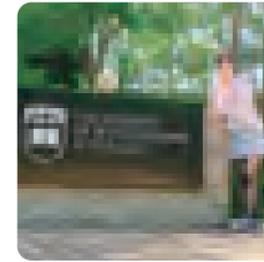
スピーキングに関しては、英語に24時間囲まれた現地に行って慣れるしかないという個人的には思いました。日本でも教科書のように綺麗な日本語を使う人はなかなかいませんよね？そういうことです。英語彙力に関しては、たくさん課題文を読んだり、友達と話すことでよくイギリス人が好んで使う表現がわかってくるので、しっかり課題をこなし、ルームメイトと積極的に仲良くなることをお勧めします。持って行ってよかったものとしては、液体味噌が大変重

宝しました。味噌にフリーズドライの豆腐とかわかめを入れてお湯を注ぐだけで10秒で味噌汁が飲めちゃう代物なので、「君いつも味噌汁飲んでるね」とルームメイトに言われるくらいに頻繁に登場していました。

最後に、留学を通して私が特に伝えたいことは、どんな変化にもオープンになって楽しむことが一番大事なことだと思います。1人、異国の地での生活、楽しいことばかりではありません。それでも、アクシデントも含めて全部丸ごと楽しめれば、将来振り返った時にいい時間だったなーと思えるはずですよ。学部時代の留学は特にこの情勢の中、何回も行けるものではないので、その一つをとても大事に留学を一杯楽しんでいただければと思います。



# 卒業生からのメッセージ



PwCコンサルティング合同会社  
2021年4月入社 コンサルティング  
田中 初季さん

国際政治経済学部  
国際コミュニケーション学科  
2021年3月卒業  
2019年 オーストラリア・ウーロンゴン  
大学 交換留学



株式会社一条工務店  
2021年4月入社 営業課  
関 修平さん

文学部 フランス文学科  
2021年3月卒業  
2019年 フランス・フランシュ・コンテ  
大学 交換留学



楽天グループ株式会社  
2021年4月入社 ショップ営業部  
渡邊 美祐さん

国際政治経済学部  
国際政治学科  
2021年3月卒業  
2019年 カナダ・カールトン  
大学 交換留学

高校時代のプログラムで2週間、オーストラリアへ短期留学をした経験を活かして、国際的な学びに興味を持ち、国際政治経済学部へ入学しました。将来、英語力を活かした仕事に就くために、日本語の通じない環境で語学力を磨きたいと考え留学を決意しました。入学後は海外の大学留学に必要なIELTSのスコアを上げるため、先生にエッセイの添削をお願いし、留学を意識して授業中の発言を増やすなどの工夫を行いました。少しでも不安が生じれば、国際センターの方に相談し、帰国後の就職活動に備えて進路・就職センターで面談を重ねることにより、スムーズに留学できました。留学中は大学の寮に滞在し、インド、台湾、ザンビアなどの多国籍・多宗教の寮友と毎日リビングに集って勉強し、意見交換を行い、自分を見つめ直すことにより、強みや弱みを改めて発見することができました。また、多角的な視点から物事を考え、自分の思いを論理的に説明し相手に理解してもらうことで、自信をもって発信する力を身に付けることができました。卒業後は外資系コンサルティング会社で働いております。海

私のフランス留学は7ヶ月の授業期間と4ヶ月のバカンス期間に分かれますが、この膨大なバカンスをどう過ごすか何を得ることができるかが大きく変わります。私は、旅行ができ、地方特産品に触れることもでき、多くの人に出会うことができるファームステイで大半の時間を過ごしました。農家に住みこみで働いた日々は今後一生忘れることのない濃い経験となりました。4ヶ月でフランスのほぼ全地方を回るのにはタフではありましたが、その経験で手に入れたものは私の人生を変えたといっても過言ではありません。留学を通じて私が得たことをご紹介します。一つ目は「圧倒的な行動力」です。留学生活は限られており、より多くのことを成し遂げるには立ち止まる暇はありません。行動した分だけさまざまな人に出会い、チャンスも多く巡ってきます。できる限り準備をし、その後は全力で動き続ける。これは留学生活が教えてくれたとても大切な教訓です。二つ目は「出会いの素晴らしさ」です。出会いは「一期一会」ですが、出会った方々を今でも家族のように思っていますし、現在でも手紙のやり取りが続いている方も多くいます。心と心が通じた付き合いは本当に温かく感じます。留学中の出会いはこれからもずっと繋がってほしいと心から思えるもので溢れています。

私は過去に海外で教育を受けた経験があり、「海外の視点からも政治を学びたい！環境を変えて海外のレベルでもっと挑戦したい！」という気持ちから留学を決意しました。また、ボストンキャリアフォーラムに参加できるよう、留学期間を調整し、学業と並行して就職活動も行いました。留学先ではクラスごとに課題が多く、毎週数ページのエッセイやパワーポイントを提出し、図書館でクラスメイトなどと一緒に課題に取り組んだ思い出があります。課題は大変でしたが、皆勉強に対する意識が高く、とても良い刺激を毎日受け、またそのような環境に身を置くことによって、自身もクオリティーを求めながら課題に取り組むことができました。またクラス内でのディスカッションでは各自しっかりと意見を持ち、自信を持って相手に説明し発表する姿を見て、自身も物事に対する関心をさらに高め、意見をしっかりと相手に伝えられる様になりたいと思いました。就職活動は10月初旬からオンライン面接を数回受け、11月

外のクライアントを相手にする仕事が多く、また同僚にも日本国籍ではない方が多く、グローバルな環境で仕事をしております。そのような環境下、仕事をすすめるうえで大切なことは、英語でコミュニケーションを取ることというはもちろん、柔軟な適応力が一番大切であることを感じます。留学中に予想もしない事態が起き、またその事態を自分の力で乗り越えた経験は、社会に出てから大きな自信となり、どんな環境にも対応できる適応力に繋がりました。昨今では留学経験者はそれほど珍しくなく、ただ「行って帰ってくる」だけの留学は確かに価値はそれほどありませんが、小さくとも自分で立てた目標と、多くのことを吸収するんだという前向きな姿勢があれば、その価値は計り知れないものになり、自分の人生を変えてくれると思います。在学中に留学をするということは、ほとんどの人にとって一生に一回の経験であり、一度そのチャンスを逃すと容易に掴み直すことは難しいのが現状です。今、留学に興味を持って、私の文章を最後まで読んでくれたあなたには、ぜひ挑戦してみてくださいをお勧めします！！

帰国後、就職活動をすぐに開始しましたが、何も考えていなかったのが正直なところでした。そこで思い付いたのが留学経験で得たこの2点でした。自分に多くの裁量があり、積極的に動ける仕事、そして一人一人との出会いを大切にでき、長期的にお互いが笑顔でいられるような仕事。この二つの条件に当てはまる仕事を経営コンサルタントと注文住宅営業でした。選考では留学経験を評価していただき、将来的にアメリカ支社に派遣される海外留学生採用枠として一条工務店に入社しました。現在は注文住宅営業としてお客様の一生に一度の理想のお住まいづくりをサポートしています。「留学してその先は何をするの？」とよく聞かれることがありますが、留学を希望する学生さんには明確な答えを急ぐ必要はないと思います。留学にはとてつもなく大きな可能性があり、視野を狭めない・選択肢を限定しないことも時に重要です。強い覚悟を持って飛び出せばあとは何とかなるものです。みなさんも留学を通して新しい自分を発見し、想像できなかった人生を築いてほしいです。応援しています。

にボストンキャリアフォーラムの会場で最終面接を受け、12月に内定をいただきました。計画的に動き、比較的早くに内定をいただけたため、残りの留学生活を楽しみながら、学業に力を入れることができました。現在は、主にデータを取り扱う業務のため、留学中に学んだデータ分析の方法により、さまざまな視点から物事を考えられるようになり、留学時の学びが活かされていると感じることが多くあります。また、今後海外で働くことも視野に入れているため、留学の経験もアピールポイントになると感じます。留学に少しでも興味のある方、海外の大学が気になる方には留学を本当にお勧めします。社会人になった今振り返ると、大学生活の1年間を海外で過ごすことにより満足度と充実度が上がり、また社会人になったからこそ1年間海外に行くというのは難しくなると感じます。留学は海外旅行とはまた違う新鮮さや経験を得られると思います。海外留学は簡単なことばかりではないので、必ず壁に当たり自分の実力を知らされる瞬間があるかもしれませんが、それは自分を成長させる機会です。絶対にその成長は今後の強みになります。ぜひ留学を通して貴重な経験をたくさんしてください！^^



## Q&A

# 留学Q&A

### 【目的・準備編】

#### Q1 留学の目的が定まりません

- A1 人によって留学の目的はさまざまです。しかし、「海外体験をしたい」「ただ行ってみたい」という安易な理由では貴重な留学体験を無駄にしてしまいます。また、協定校留学・認定校留学は「英語もしくは第二外国語で専門科目を学び単位を修得する」ことを主としているため、単なる語学留学に留まりません。留学して何をしたいのか、自分なりの留学目的を明確にして、意義のある留学を実現してください。

#### Q2 留学先が決められません

- A2 留学先を決める判断材料として、出願条件や学びたい科目が開講されているかはもちろんですが、その他に大学の規模や学生数、留学生数、気候・文化的風土、所在地、生活環境なども考慮するようにしてください。また、国際センターでは在学留学経験者の帰国レポートが閲覧できます。そのような資料を参考にしても良いでしょう。

#### Q3 留学先ではどのようなことが学べますか？

- A3 留学先の大学によってさまざまなカリキュラムが設定されています。交換留学生は基本的に“Non-Degree Student”や“Visiting Student”など学位取得を目的としない学生に区分され、特定の学部には属さないことが多く、本学で在籍している学部に関する科目以外でも履修は可能です。ただし、履修登録の優先権が学位取得を目指す学生に与えられていたり、交換留学生が履修できない科目もあるため、柔軟性が必要です。どの大学で何を学びたいのかを明確にし、「こんなはずでは」という留学にしないためにも、留学先は知名度だけでなく、綿密な下調べをして自分に合った大学を選ぶことが重要です。

#### Q4 留学費用としてどの程度の資金が必要ですか？ また、いつまでに準備しておけば良いですか？

- A4 留学先や個人の生活スタイルによって異なりますが、約1年間の滞在に必要な資金は派遣交換留学(英語圏)において約200～250万円となります(授業料免除の場合)。その中には、留学先での宿舍費、食費、教材費の他、保険料(留学先及び本学指定)、往復航空券代などが含まれます。ただし、留学地域や留学先での滞在方法(寮、アパート)、長期休暇の過ごし方などによっても増減しますので、目安とを考えてください。また、資金の準備については、アメリカ留学の場合、学内選考合格後の留学先への出願時点で上記費用を証明する英文銀行残高証明書の提出を求められることがほとんどですので、学内選考合格後には準備が整っていることが必要となります。

### 【学内出願編】

#### Q5 TOEFL iBTとIELTSはどのようなテストですか？

- A5 7ページにもあるとおり、英語を母語としない方が主に海外留学や海外移住を目的として、英語能力を証明するための試験です。TOEFL iBTとIELTSは試験のスタイルにそれぞれ特徴があります。初めて受けるという方は、どちらが自分に合うかよく検討したうえで受験してください。なお、本学のイギリス協定校の一部では、ブリティッシュ・カウンシル運営のIELTS for UK Visas and Immigration(IELTS for UKVI)を必須としている大学もあり、テストセンターが東京と大阪のみとなっているため早めの受験申込が必要です。また、いずれのIELTS受験においてもAcademicとGeneralのうち留学用の“Academic”を受験してください。

<IELTS for UKVI>

<https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts-uk-visa-immigration/about>

#### Q6 TOEICやTOEFL ITPのスコアで出願はできますか？

- A6 本学協定校または認定校への留学の出願には、TOEICやTOEFL ITPのスコアは利用できません。

#### Q7 出願要件にTOEFL iBTとIELTSスコアがある場合、両方のスコアが必要ですか？

- A7 どちらか一方で構いません。ただし、イギリスに留学する場合はIELTSのスコアが必須となりますので、少しでもイギリス留学を検討している方は、IELTSもしくはIELTS for UKVIの受験をお勧めします。

#### Q8 出願に必要なTOEFL iBT/IELTSはいつまでに受ければ良いですか？

- A8 試験実施母体によって申し込み可能日およびスコア確認可能日が異なります。詳細は以下のURLからご確認ください。

<TOEFL iBT>

TOEFLテスト日本事務局：[https://www.toefl-ibt.jp/test\\_takers/index.html](https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/index.html)

<IELTS> ※複数の試験実施母体があります。

日本英語検定協会(ペーパー式)：<https://www.eiken.or.jp/ielts/>

British Council(コンピューター式)：<https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts/which-test/computer-delivered-ielts>

British Council(UKVI)：<https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts-uk-visa-immigration/register>

JSAF(コンピューター式/ペーパー式の両方実施)：<https://jsaf-ieltsjapan.com/>

パークレーハウス(コンピューター式)：<https://berkeleyhouse.co.jp/jp034/>

#### Q9 出願締切日までにTOEFL iBT/IELTSの公式スコアレポートが届きません。どうしたらいいですか？

- A9 学内出願においては、公式スコアレポートが無くてもWeb上のスコアで受付することが可能です。ただし、学内出願に必要なすべての書類(外国留学願書、誓約書、TOEFL iBT/IELTSスコアもしくは志望する大学が求める語学能力を証明するもの)は、締切日の出願取り扱い時間内の提出が必須です。時間を過ぎた提出はいかなる理由であっても認めませんので、注意してください。

#### Q10 現在1年生です。協定校・認定校留学への出願をする際、G.P.A.はどのような取り扱いになりますか？

- A10 後期出発の協定校・認定校へ出願する際、1年生は前期までのG.P.A.が2.4以上あることが望ましく、選考においては前期までのG.P.A.を参考にします。また、選考の結果候補者として選出された後、1年次が終了した時点で協定校の出願資格に満たない場合、候補者取り消しとなりますので注意してください。

#### Q11 留学の期間を途中で延長や短縮することはできますか？

- A11 申請した留学期間を延長や短縮することはできません。出願の際は十分に留学計画を立てたうえ、期間を決定してください。

### 【制度編】

#### Q12 教職課程を履修していますが、留学と両立することはできますか？ また、教育実習・介護等体験はいつ行えば良いでしょうか？

- A12 教職課程と留学の両立は、最短修業年限での教員免許状取得を目指した場合、履修その他の問題からみて難しいと考えられます。可能かどうかは留学の形態や留学時期、留学期間、実習先等さまざまな条件により異なるため、教職課程と留学の両立を目指す場合は、早い段階で教職課程課(青山)もしくは学務課教職課程担当(相模原)に相談してください。教育実習や介護等体験、それに伴う各種手続を行う時期も各人の条件によって異なるため、計画的な履修や諸手続が必要となります。

#### Q13 留年しないで留学は可能でしょうか？

- A13 協定校留学・認定校留学で2年次あるいは3年次に留学した場合は、修得単位数によっては可能となります。

ただし、休学留学する場合は留年となり、4年間での卒業はできません。右記の例の通り、3年次の後期から次年度前期まで休学留学をする場合、2014年度以降入学者は1年間、2013年度以前入学者は2年間留年することになります。休学の手続きなどについては、教務課(青山)／学務課(相模原)の窓口へお問い合わせください。

●例：3年次後期より1年間休学して留学した場合

【2014年度以降入学者】

	2022		2023		2024		2025		2026	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
休学した場合の在籍年次	1年次		2年次		3年次	休学留学	3年次	4年次		

【2013年度以前入学者】

	2013		2014		2015		2016		2017		2018	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
休学した場合の在籍年次	1年次		2年次		3年次	休学留学	3年次	3年次※	4年次			

※2013年度以前入学者の場合、進級するには1年間を通して在学することが必要です。

#### Q14 留学して9月に卒業するという話を聞きましたが、どういう場合に9月卒業になるのでしょうか？

- A14 4年次の後期に出席し、次年度の前期に帰国した場合、留学先で修得した単位が認定されて卒業要件を満たすと、9月に卒業することができます。ただし、9月卒業を希望する場合は、その旨を事前に意思表示をする必要があります。手続きは、国際センターの指示に従ってください。

### 【その他】

#### Q15 留学体験は就職活動に有利ですか？ また、帰国後の就職活動について教えてください

- A15 留学経験が就活に有利ということはありません。ただ、視野が広くバイタリティのある学生は企業も欲しい人材です。留学前に気になる業界や企業の情報を予め調べておくと、留学中もビジネス視点で世界や日本の動きを見ることができそうです。留学先でも日英バイリンガル向けの就職フェア、Web面接を行なう企業など、採用活動も多様化しており、留学中だからこそできることもあります。海外でもWeb Ash(青学生専用の進路就職支援システム)でガイダンスや講座などの動画配信や資料も見ることができます。不明な点があれば、進路・就職センターに相談してください。

#### Q16 留学にあたって海外での安全管理はどのようにしたら良いですか？

- A16 グローバル化の進展に伴い、本学学生の海外渡航の機会が格段に増加している中、近年多発する自然災害やテロ事件に象徴されるように、世界の中には安全な場所はない、といえる状況になっています。このような世界情勢に鑑み、海外での安全管理については『自分の身は自分で守る』を念頭に、渡航前、渡航後にすべきことを各自で行ってください。なお、国際センターが取り扱う留学(協定校留学、認定校留学、海外語学・文化研修、トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム、インターンシップなど)による海外渡航者は、国際センターが指定する海外留学保険や、提携する危機管理会社のサポートサービスに必ず加入していただきます。未加入の場合は渡航を認めません。詳細は、出発前までに国際センターより案内しますので、指示に従ってください。参考URL：<http://web.iec.aoyama.ac.jp/system/safety.html>

# 国際センター

International Center

## 留学相談・資料閲覧

国際センターでは、協定校留学や認定校留学、それ以外の留学に関する資料収集や留学先への問い合わせ方法など、多方面にわたる相談を受け付けています。留学を希望する学生は、なるべく早い時期に相談をしてください。また留学には、念入りな計画が必要です。当センターでは資料閲覧ができますので、ぜひ活用してください。留学に関する情報を早期に収集し、十分に検討してください。

## 協定校留学出願前オリエンテーション

協定校留学をするためには、それなりの心構えが必要です。また、留学先大学の事情を把握することも大切です。オリエンテーションでは出願にあたっての留意事項の説明を行うとともに、協定校についての説明、留学体験者の話、現在協定校から来ている受入交換留学生の話などを聞く機会を設けます。

## 留学セミナー・イベント

留学経験者またはこれから交換留学に行く候補者によるセミナーや相談会などのイベントを実施します。開催情報は学生ポータルや国際センターウェブサイトに掲載しますので、ぜひ積極的に活用してください。

## 留学カウンセリング

国際センターでは海外留学促進のため留学カウンセリングを行っています。相談希望の方は国際センターにお越しください。

### 青山キャンパス

- 開室時間  
月～金 9:00～11:30/12:30～17:00  
土 9:00～11:30
- 住所  
〒150-8366  
東京都渋谷区渋谷4-4-25 17号館2階
- 電話番号  
(直通) 03-3409-8462
- メールアドレス  
agu-outbound1@aoyamagakuin.jp



### 相模原キャンパス

- 開室時間  
月～金 9:00～11:30/12:30～17:00  
土 9:00～11:30
- 住所  
〒252-5258  
神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1 B棟1階
- 電話番号  
(直通) 042-759-6034
- メールアドレス  
agu-outbound1@aoyamagakuin.jp



# 外国留学規則

Rules and Regulations

## ■ 青山学院大学学生外国留学規則

### 第1章 総則

- (趣旨)
- 第1条 この規則は、青山学院大学(以下「本学」という。)の教育課程の一環として、本学学生の身分のままで、外国の大学の学部又は大学院(以下「外国の大学」という。)に留学する学生の留学期間及び留学により修得した単位認定に必要な事項を定めるものとする。ただし、本人の都合により休学して留学する学生は、この規則の対象としない。(留学の対象となる外国の大学)
- 第2条 留学の対象となる外国の大学は、次のとおりとする。  
(1) 本学との間に学生の相互交流の協定を締結した大学(以下「協定校」という。)  
(2) 外国留学を希望する学生の申請に基づき学長が認定した大学(以下「認定校」という。)(留学の種類)
- 第3条 この規則による留学は、次のいずれかに該当するものを行う。  
(1) 学生相互交換協定により、協定校で特定の授業科目を履修するための留学  
(2) 学習又は研究上の必要により、認定校で特定の授業科目を履修するための留学(留学生の種類)
- 第4条 この規則では、前条第1号の規定により留学する者を交換留学生といひ、同条第2号の規定により留学する者を認定校留学生といふ。

### 第2章 交換協定

- (交換協定)
- 第5条 外国の大学と学生の相互交換を行う場合、学長は、国際センター運営委員会の議を経て当該大学との間に協定を締結するものとする。
- 第6条 前項の場合、学長は、事前に院長の承認を得なければならない。(交換協定の内容)
- 第7条 前条に規定する協定には、少なくとも次の各号の内容を含むものとする。  
(1) 相互交換を行う目的  
(2) 受入れの条件  
(3) 受入れの学生数  
(4) 履修科目及び単位数の限度  
(5) 住居の用意の有無  
(6) 授業料等学費の納入方法  
(7) 協定の有効期間  
(8) その他必要な事項

### 第3章 交換留学生

- (交換留学生の資格)
- 第7条 交換留学生は、本学に1年以上在学し、出発時において、学部においては1か年につき30単位以上、大学院(専門職大学院を含む。第14条を除き、以下同じ。)においては16単位以上を既に修得した者でなければならない。
- 第8条 協定校へ留学を希望する学生は、所定の募集期間中に所定の留学願を提出して出願し、国際センター運営委員会による選考を受けなければならない。
- 第9条 前項に規定する出願及び国際センター運営委員会による選考については必要な事項は、青山学院大学学生外国留学規則に基づく外国留学生選考細則(以下「外国留学生選考細則」という。)の定めるところによる。(学部長又は研究科長の承認)
- 第10条 前条の規定により留学が決定した場合、本学は必要書類を添えて、協定校に留学希望者の受入れを依頼するものとする。(修得単位)
- 第11条 交換留学生は、協定校においては、原則として1学期間、学部においては本学における12単位に相当する単位数以上、大学院においては本学における9単位に相当する単位数以上の単位を修得しなければならない。(単位の授与)
- 第12条 交換留学生には、留学前若しくは帰学後の前期又は後期において履修した科目に対し、成績を評価し、相当の単位を与えるものとする。(留学期間)
- 第13条 交換留学生の留学期間は、1年以内とする。
- 第14条 前条の規定により留学する学生は、学部においては青山学院大学(以下「学部」という。)第31条第3項の規定に、大学院においては青山学院大学大学院(以下「大学院」という。)第51条第2項の規定に、専門職大学院においては青山学院大学専門職大学院(以下「専門職大学院」という。)第21条第2項の規定に基づき、本学の修業年限に算入する。(授業科目及び単位の認定)
- 第15条 学部の学生が留学期間に修得した授業科目及び単位数は、学部第42条第2項第1項の規定に基づき、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 第16条 大学院の学生が留学期間に修得した授業科目及び単位数については、前項の規定を適用する。この場合において、「学部」とあるのは「大学院」と、「学部第42条第2項第1項」とあるのは「大学院学則第51条第3項(専門職大学院においては、専門職大学院学則第39条第2項)」とする。
- 第17条 第1項に規定する授業科目及び単位の認定は、あらかじめ定められた基準及び所定の単位認定手続に従い、学部の教授会(大学院においては、研究科教授会)が行う。
- 第18条 学部において認定できる単位数の上限は、学則第39条の2の規定により、学生が適用される所定の最高履修制限単位数(留学期間の属する年度が複数年度の場合は、当該の各年度の最高履修制限単位数の合計)から、以下の各号に規定する単位数の合計を減じたものとする。  
(1) 留学を開始する年度において、留学開始前に履修登録した単位数  
(2) 留学を終了した年度において、留学終了後に履修登録する単位数(留学終了届の提出)
- 第19条 交換留学生は、帰国の日から1か月以内に、履修科目の成績及び修得単位の証明書添付した所定の留学終了届を学部長(大学院においては、研究科長)に提出しなければならない。(卒業又は修了要件単位への算入)
- 第20条 第15条の規定により認定された単位数は、本学において、学部においては卒業要件単位として、大学院においては修了要件単位として算入することができる。
- 第21条 学部においては、第4年次に在籍する学生で本学の卒業要件を満たした者は、留学を終了した年度に卒業することができる。
- 第22条 交換留学生が次の各号のいずれかに該当する者と認められる場合は、学長は協定校と協議の上、交換留学生としての資格を取り消すことができる。  
(1) 協定校における学業成績不良で成業の見込がない者  
(2) 学生としての本分に反する行為を行った者  
(3) 学費納付等定められた義務を怠った者

- (修業年限への算入)
- 第14条 前条の規定により留学する学生は、学部においては青山学院大学(以下「学部」という。)第31条第3項の規定に、大学院においては青山学院大学大学院(以下「大学院」という。)第51条第2項の規定に、専門職大学院においては青山学院大学専門職大学院(以下「専門職大学院」という。)第21条第2項の規定に基づき、本学の修業年限に算入する。(授業科目及び単位の認定)
- 第15条 学部の学生が留学期間に修得した授業科目及び単位数は、学部第42条第2項第1項の規定に基づき、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 第16条 大学院の学生が留学期間に修得した授業科目及び単位数については、前項の規定を適用する。この場合において、「学部」とあるのは「大学院」と、「学部第42条第2項第1項」とあるのは「大学院学則第51条第3項(専門職大学院においては、専門職大学院学則第39条第2項)」とする。
- 第17条 第1項に規定する授業科目及び単位の認定は、あらかじめ定められた基準及び所定の単位認定手続に従い、学部の教授会(大学院においては、研究科教授会)が行う。
- 第18条 学部において認定できる単位数の上限は、学則第39条の2の規定により、学生が適用される所定の最高履修制限単位数(留学期間の属する年度が複数年度の場合は、当該の各年度の最高履修制限単位数の合計)から、以下の各号に規定する単位数の合計を減じたものとする。  
(1) 留学を開始する年度において、留学開始前に履修登録した単位数  
(2) 留学を終了した年度において、留学終了後に履修登録する単位数(留学終了届の提出)
- 第19条 交換留学生は、帰国の日から1か月以内に、履修科目の成績及び修得単位の証明書添付した所定の留学終了届を学部長(大学院においては、研究科長)に提出しなければならない。(卒業又は修了要件単位への算入)
- 第20条 第15条の規定により認定された単位数は、本学において、学部においては卒業要件単位として、大学院においては修了要件単位として算入することができる。
- 第21条 学部においては、第4年次に在籍する学生で本学の卒業要件を満たした者は、留学を終了した年度に卒業することができる。
- 第22条 交換留学生が次の各号のいずれかに該当する者と認められる場合は、学長は協定校と協議の上、交換留学生としての資格を取り消すことができる。  
(1) 協定校における学業成績不良で成業の見込がない者  
(2) 学生としての本分に反する行為を行った者  
(3) 学費納付等定められた義務を怠った者
- (準用)
- 第23条 第7条、第9条から第19条まで及び第21条の規定は、認定校留学生にこれを準用する。
- 第24条 交換留学生及び認定校留学生に関する事務は、国際部国際交流課の所管とする。(改廃手続)
- 第25条 この規則の改廃は、国際センター運営委員会、学部長、研究科長、教授会及び研究科教授会の意見を聴いた後、常務委員会で協議し、理事会の承認を得て、学長が行う。
- 第26条 前項の規定にかかわらず、学部のみに係る規定の改正については、研究科長及び研究科教授会の意見を聴くことを、大学院のみに係る規定の改正については学部長及び教授会の意見を聴くことを、それぞれ省略することができる。
- 附 則(2019年12月13日)  
この規則は、2019年12月14日から施行する。

## ■ 青山学院大学学生外国留学規則に基づく外国留学生選考細則

- (趣旨)
- 第1条 この細則は、青山学院大学学生外国留学規則(以下「外国留学規則」という。)第8条第2項及び第22条第3項の規定に基づき、外国留学生の選考について必要な事項を定めるものとする。(定義)
- 第2条 この細則において「外国留学生」とは、外国留学規則第4条に規定する交換留学生及び認定校留学生をいう。  
2 この細則において「外国留学」とは、以下のものをいう。  
(1) 外国留学規則第3条第1号に規定する交換留学  
(2) 外国留学規則第3条第2号に規定する認定校留学(資格)
- 第3条 外国留学を希望する者(以下「希望者」という。)は、外国留学規則第7条に規定する条件を満たす者で以下に規定する条件を出願時に全て満たしているものとする。  
(1) 希望者が青山学院大学(以下「本学」という。)で取めた成績に係るGPAが2.4以上(小数点以下2位を四捨五入する。)で、希望者が留学を希望する大学のGPAに係る条件を満たしていること。  
(2) 以下のいずれかの条件を満たしていること。  
イ TOEFL iBT 68以上又はIELTS 5.5以上  
ロ 希望者が留学を希望する大学が要求する語学能力に係る条件を満たしていること。  
(3) 外国留学について保証人の同意を得ていること。  
2 希望者が以下の各号のいずれかに該当する場合は、前項柱書中「出願時」とあるのは、当該各号のとおり読み替えて、前項の規定を適用する。  
(1) 1年次生 1年次終了時  
(2) 編入学生(編入した年度の者に限る。) 編入学した年度の終了時(出願)
- 第4条 希望者は、出願に当たっては、本学が指定する期限までに以下の各号の書類を、相模原キャンパス所属の者においては相模原事務部学務課へ、青山キャンパス所属の者においては国際部国際交流課へ提出しなければならない。  
(1) 外国留学の種類に応じて、以下に規定する所定の留学願  
イ 交換留学 外国留学規則第8条に規定するもの  
ロ 認定校留学 外国留学規則第22条に規定することができる書類  
(2) 前条第1項第2号の条件を満たしていることが確認できる書類  
(3) 保証人の同意書  
(4) その他選考に必要とする書類(選考担当者)
- 第5条 外国留学生の選考は、原則として、国際センター運営委員会委員(以下「委員」という。)が行う。ただし、国際センター運営委員会委員長(以下「委員長」という。)が必要と認める場合は、委員が推薦する本学の専任教員が、その選考を行うことができる。  
2 前項に規定する選考担当者は、希望者に係る書類審査及び希望者との面接により、選考を行う。  
3 第1項に規定する者のほか、委員長が必要と認める場合は、選考担当者に適当と認める者を加えることができる。(選考)
- 第6条 選考担当者は、前条第2項に規定する選考の結果を、国際センター運営委員会(以下「委員会」という。)に報告する。  
2 委員会は、前項の規定による報告に基づき、希望者の中から外国留学生の候補者として適当と認められる者を決定し、当該者の所属する学部又は大学院研究科の教授会付議の手続をとる。(改廃手続)
- 第7条 この規則の改廃は、委員会及び学部長の意見を聴いた後、学長が行う。

- 附 則(2019年12月13日)  
この規則は、2019年12月14日から施行する。

### 第5章 補則

- (事務の所管)
- 第24条 交換留学生及び認定校留学生に関する事務は、国際部国際交流課の所管とする。(改廃手続)
- 第25条 この規則の改廃は、国際センター運営委員会、学部長、研究科長、教授会及び研究科教授会の意見を聴いた後、常務委員会で協議し、理事会の承認を得て、学長が行う。
- 第26条 前項の規定にかかわらず、学部のみに係る規定の改正については、研究科長及び研究科教授会の意見を聴くことを、大学院のみに係る規定の改正については学部長及び教授会の意見を聴くことを、それぞれ省略することができる。
- 附 則(2019年12月13日)  
この規則は、2019年12月14日から施行する。